

第四次昭島市総合基本計画の実施状況

第1 人が輝く(明るい地域社会の形成)		実施状況
1 共につくる(コミュニティの推進)		
(1) コミュニティ		
① コミュニティ活動の推進		
A コミュニティ意識の醸成・高揚		
a	市民自らが地域での役割を認識し、コミュニティ活動に積極的に参加できるよう、情報提供や広報活動の充実、講演会開催などによる啓発活動を推進します。	2つのコミュニティ協議会が設立され、地域課題の解決に向けた活動を展開している。
B コミュニティの組織づくり		
a	自治会、老人クラブ、子ども会など、地縁的コミュニティ団体への加入促進をはかり、その活動を支援します。	自治会連合会と連携して、自治会への加入促進に努めている。
b	学習、文化などの知縁的コミュニティ活動の活性化やリーダーの育成に向けて、情報提供などを積極的に進めます。また、地域の人材の活用をはかります。	公民館における各種講座や自主企画事業などの実施をはかった。また、これらの活動を通して、自主的な活動を行うリーダーやグループなどの育成に努めた。
C ボランティア活動などへの支援		
a	ボランティア意識の共有がすべてのボランティア活動の出発点であるため、社会福祉協議会などと連携し、ボランティア意識の啓発、情報の提供、活動の支援に努めます。	①昭島市ボランティアセンターと連携し、ボランティア活動の支援に努めた。 ②ボランティアセンターと連携し、情報誌の発行やホームページへの掲載、各種ボランティア講習の実施などにより、ボランティア活動へ意識の啓発を促進した。
D 推進計画の策定とその推進		
a	地域のさまざまな団体や個人により構成される、(仮称)まちづくり推進協議会の組織づくりに努め、市民による地域診断を実施して、良好なまちづくりを推進します。また、この調査結果に基づき、住民組織やNPO(非営利組織)などと行政との基本的な役割分担も含めた、地域づくりを推進する計画を策定します。	①2つのコミュニティ協議会が設立され、地域のまちづくりの推進がはかられた。 ②拝島駅南口駅前地区の整備では、まちづくり協議会から提出された案を基に地区計画を策定した。 ③工場団地まちづくり情報・意見交換会を実施し、工場と住宅の調和をはかることを目的とした検討を進めている。 ④市民による地域診断には至っていない。
② コミュニティ施設の整備		
A 活動拠点の整備		
a	地域集会施設として武蔵野地区に市立会館の建設を進めるほか、自治会集会施設の整備に対する助成を引き続き行います。	①市立武蔵野会館を開設した。 ②自治会集会施設の整備に対する助成を実施している。
b	自主的な市民活動団体などが気軽に利用できる場の確保に向け、多角的な検討を行います。	本庁舎2階に情報コーナーを設置した。
c	市民斎場については民間葬祭事業者との連携を含めて、引き続き検討します。	候補地が決定した。
B 施設の有効利用と管理		
a	市立会館をはじめとする既存施設の多目的利用を進めるほか、地域の社会資源である学校施設のコミュニティ活動への活用について、関係機関との調整を進めます。	既存施設の多目的な活用については、行財政運営の観点からも検討を進めた。
b	市立会館や公園などの各種コミュニティ施設については、利用者などで構成される運営委員会の設置も含め、施設のあり方や管理運営について地域の意向や自主性が反映されるよう努めます。	市立武蔵野会館では、市民参加の運営が行われている。また、アダプト制度など、市民のボランティアによる清掃・美化活動なども行われた。
③ 交流の推進		
A 市民交流		
a	広報あきしまや各種情報コーナーを充実し、市民相互の交流促進を支援します。	広報あきしまや情報コーナーでの情報の提供に努めた。
b	行政のあらゆる場面において、市民が気軽に参加でき、ふれあいを深められるイベントや事業の実施に努めます。既存のイベントや事業についても、市民が可能な限り参加できるしくみづくりを進めます。	くじらまつり、産業まつり、消費生活展などを毎年実施した。
c	多様性に富んださまざまな人々が集うヨコの連携や世代を越えるタテの交流が盛んになるよう、その環境づくりや条件づくりを支援します。	新たな市民連携としての位置づけをはかった。

B	国内交流	
a	岩手県岩泉町との小学生国内交流事業や物産交流を継続し、推進します。	①小学5・6年生を対象に、小学生国内交流事業を継続して実施している。 ②岩泉町との職員の相互派遣を実施した。
b	国内における姉妹都市提携は、災害時の相互応援なども含めて多角的に検討を行います。	群馬県館林市及び岩手県岩泉町と災害時の相互応援協定を締結した。

第1 人が輝く(明るい地域社会の形成)		実施状況
1 共につくる(コミュニティの推進)		
(2) 男女共同参画社会		
① 「男女共同参画プラン」の推進		
A	a 平成22年度までの行動計画である「男女共同参画プラン」の事業計画にそって、男女共同参画社会の実現に向けた施策を推進します。	男女共同参画プラン審議会の答申を受け、平成23年度から10年間の男女共同参画プランを策定した。
② 男女共同参画社会の実現		
A	男女平等観の形成	
a	基本的人権尊重の視点に立ち、男女平等観を形成するために、家庭、学校、職場、地域などあらゆる場において、男女平等意識の普及、啓発をはかります。	男女共同参画情報誌「Hiあきしま」の発行及び講演会、学習会を開催し、男女平等意識の啓発に努めた。
B	職業生活と地域・家庭生活の支援	
a	性別役割分業意識をなくし、男女が共に仕事も家庭的責任も果たせる社会づくりのために、職場の労働環境を整備するとともに多様な労働実態に対応できる家事・子育ての支援をはかります。	①男女共同参画ルーム「おあしす」を開設し、男女共同参画関係団体の活動の拠点として、活用された。また、ルームの適切な管理・運営をはかった。 ②少子化対策を含め、子育ての支援に努めた。
C	女性の健康支援と女性に対する暴力の根絶	
a	リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念の浸透や生涯を通じての女性の健康保持増進に対する対策と、女性に対するセクシャル・ハラスメントや暴力の根絶に向けた対策をはかります。	①女性悩みごと相談(毎週水曜日・予約制)を実施した。 ②各種健康診査の充実をはかった。 ③平成23年度からの男女共同参画プランの目標ⅡをDV防止法に基づく基本計画とした。
D	高齢社会へ対応した男女が豊かに暮らせる社会づくり	
a	主体的に高齢期を生きるための環境づくりと、男女が共に介護を担え、行政が支援できるシステムづくりに努めます。	①高齢者の生きがい対策や在宅福祉の充実 に努めた。 ②介護保険制度の適切な運営をはかった。
E	あらゆる分野への男女共同参画の推進	
a	政治や職場、地域などあらゆる分野に、その方針や方向性を決定する過程から男女が共に参加し、その責任を担うことができる真の男女平等社会の実現をめざすため、参加の条件づくりやそのしくみづくりなどを進めます。また、男女共同参画都市宣言などについて検討します。	男女共同参画都市宣言を制定し、取組み姿勢をより明確にし、市民意識の醸成をはかった。

第1 人が輝く(明るい地域社会の形成)		実施状況
1 共につくる(コミュニティの推進)		
(3) 国際化		
① 国際化の推進		
A	地球的規模の視野をもつひとづくり	
a	「国際化推進プラン」を基本に、次代を担う児童や生徒に対する学校教育や生涯学習において、国際理解を推進する学習や講座を引き続き実施します。また、平和、人権、環境学習を推進します。	①小・中学生の外国語教育の向上のため、国際理解推進教育推進事業(小)、英語指導補助者派遣事業(小・中)を実施した。 ②「みんなで実行ISO」の取組を通して、環境問題への関心を高めた。 ③公民館において、各種講座の実施をはかるとともに、非核平和の映画界や施設見学会を実施した。
b	市民やNPOなどの国際的な実践活動を、地球市民としての連帯意識の高揚と新たな文化を育む機会としてとらえ、その支援に努めます。	在住外国人への支援を行う団体などに対し、連携と支援に努めた。

B	国際交流・国際協力の推進	
	a 中学生、高校生を中心とした青少年の国際交流の実現に努めるほか、外国人青少年の受け入れについても関係機関と連携し、その体制づくりを進めます。また、海外帰国子女受け入れに貢献している私立学校や民間企業との連携を検討します。	中学生海外派遣事業に取り組むとともに、派遣先の生徒を受け入れ、生徒の交換交流事業を実施した。
	b 情報提供や広報活動を充実し、市民レベルでの草の根の国際交流、国際協力を支援します。	在住外国人への支援などによる、市民レベルの国際交流・国際協力の支援に努めた。
	c 難民問題や貧困問題に加え、深刻化している地球環境問題に対しても市民、民間企業やNPOなどと連携した国際協力を検討します。	自然災害の被災地への支援など、市民や団体と連携した国際協力の実施に努めた。
C	国際化にふさわしいまちづくり	
	a 外国人が安心して暮らせるための生活、医療などに関する広報活動や情報提供を充実させるほか、相談体制の整備に努めます。また、外国人のための日本語学習の機会増大に努めます。	①市が作成する広報資料の外国語版作成や、民間レベルの日本語学習への支援に努めた ②ホームページの外国語版を開設した。
	b 外国人にとってわかりやすい道路・交通標識や外国語、ローマ字併記の公共施設表示板の設置を引き続き推進するほか、民間施設へも協力を求めます。	ローマ字併記の案内板等の設置に努めた。
	c 外国人の地域活動や市政参画を促進するため、懇談会などの設置を検討します。	懇談会の設置は実現しなかった。

第1 人が輝く(明るい地域社会の形成)		実施状況
1 共につくる(コミュニティの推進)		
(4) 地域情報化		
① 地域情報化への対応		
A	地域情報化計画の策定	
a	情報通信分野の技術革新とその高度利用を基本として、豊かで活力のある地域社会の実現とコミュニティの形成をはかるため、「昭島市地域情報化計画」を策定し、計画的かつ総合的に地域情報化を推進します。	「昭島市情報化推進計画」を策定するとともに、別冊として、地域情報化推進方針書・教育ICTの推進方針書を策定した。
B	情報通信基盤の整備とその活用	
a	今後、市域に整備される情報通信網を積極的に活用するとともに、ケーブルテレビについては地域メディアとしての有効性に着目し、その活用も進めます。	ICT化の推進により、現時点においてこの施策の方向性はない。
C	地域情報化の推進	
a	施設利用の申し込みや保健医療への活用など市民生活に関わるさまざまな分野において情報通信技術を活用することにより、より便利で快適な市民生活の実現に努めます。	①公共施設予約システムを整備した。 ②ポータルサイト「福祉のひろば」に電子申請・電子相談サイトを開設し、ノンストップサービスの提供をはかった。
b	コミュニティづくりの視点で、市民と市、市民相互の情報交流を進める情報ネットワークの形成をはかります。	①ホームページでの情報発信に努めた。 ②「市民の声」や「パブリックコメント」において市民からの意見等を受けている。 ③ポータルサイト「福祉のひろば」に市民相互の情報交換を進める掲示板を開設した。 ④ホームページ利用に関するアンケートを実施した。
c	市民が情報化の動きに主体的に対応できるよう、学校教育や生涯学習を通じて、情報教育の推進をはかるとともに、指導者の育成にも努めます。	学校教育や生涯学習を通して、情報教育の推進に努めた。
D	市政情報化の推進	
a	電算処理計画を見直し、新たな庁内OA化計画を策定します。	「昭島市情報化推進計画」を策定するとともに、別冊として、基幹系システム更新計画書を策定した。
b	新たな庁内OA化計画により、地域情報のネットワーク化を進め、環境、福祉、教育など幅広い分野において行政サービスの向上をはかります。	①各拠点間の光ネットワークの整備をはかった。 ②各学校間と本庁を結ぶ光ネットワークの整備を図った。 ③システムの更新による行政サービスの向上に努めた。
c	市政に関する情報については、情報公開と説明責任の観点から、ホームページの活用など新たな情報公開と交流システムの構築をはかります。	ホームページの運用管理を自庁処理化し、情報発信のリアルタイム化をはかった。

E	情報システムの安全性などの確保	
a	個人情報保護や災害時における安全保護対策などの整備に努めます。	①昭島市情報セキュリティポリシーを策定するとともにその全部改定を行った。 ②情報セキュリティ実施手順書を策定した ③災害時業務計画を策定した。 ④緊急時対応計画の全部改定を行った。

第1 人が輝く(明るい地域社会の形成)		実施状況
2. 市民の安全を守る(安心・安全の確保)		
(1) 防災		
① 災害予防体制の確立		
A	地域防災計画の充実	
a	地域防災計画を都市の発展状況などに応じたより実効性のある内容に見直し、災害に強いまちづくりを進めます。	地域防災計画震災編・同水害等を見直し、それに併せて職員防災手帳の見直しと職員への配布を行った。また、国民保護計画の策定を行った。また、業務継続計画の策定に向けて準備をしている。
B	市民自主防災組織の強化	
a	「自分たちのまちは自分たちで守る」ことを基本に、自治会などを中心とした市民自主防災組織の育成、強化に努めるとともに、自主的な防災活動を支援します。	第四次計画の当初89組織だった市民自主防災組織は、平成21年8月で99組織となり、目標数99組織に対し100.0%となった。
C	防災意識の普及、啓発	
a	市民と行政の防災行動力の向上や防災意識の普及、啓発をはかるため、防災訓練や防災研修会などを引き続き開催します。	①毎年、総合防災訓練を実施するなか、平成19年度には、本市において、東京都・四市一町合同総合防災訓練を実施した。 ②震災図上訓練や業務継続計画講習会を実施し、市職員の防災行動力の向上をはかった。 ③消防署と連携し、自主防災組織等が行う防災訓練や講習会の支援と協力を努めた。 ④自治会、市民を対象に防災研修会を実施し防災意識の普及・啓発をはかった。
b	広報紙や防災マップ、ホームページなどを活用し、避難場所などの周知をはかるとともに、地域における予防活動や応急活動の推進に努めます。	①防災・災害対策用ホームページを開設した。 ②避難場所や災害時の市民の行動を記載した防災マップ・洪水ハザードマップを作成し全戸配布した。 ③地域における予防活動等の推進に向け、消防署と連携し、自主防災組織等が行う防災訓練や講習会の支援と協力を努めた。
② 災害応急対策の充実		
A	情報連絡体制の強化	
a	災害発生初期における被害状況などの早期情報把握や指揮伝達統制の効率化に努めるとともに、市防災行政無線機能の整備をはかるなど、防災情報システムの確立に努めます。	①東京都災害情報システム及びEm-Netを導入し、国・東京都との情報伝達体制の整備をはかった。 ②子局の増設など、防災行政無線の充実に努めた。 ③防災行政無線の音声未伝達地域対策として、昭島市携帯メール情報サービス(旧自治体携帯サイト)、エリアメールの導入をはかった。 ③全国瞬時警報システムの導入をはかった。
B	応急物資などの確保	
a	災害時の生活支援対策として、引き続き非常用食料の備蓄と飲料水、防災用資機材などの確保をはかり、あわせて備蓄倉庫などの増設に努めます。また、関係団体相互の連携、協力を得ながら、食料、医薬品など生活必需品の優先的な供給体制の確立に努めます。	①非常用食糧の備蓄を進め、一部を除き備蓄計画に対し、ほぼ100%の充足率となった。 ②災害時の飲料水の確保のため、ウォーターパッカー(飲料水袋詰機)を導入し、給水体制の整備をはかった。 ③防災用資器材については、計画的な備蓄を進めたが一部充足されていない状況にある。 ④備蓄倉庫については、その増設等をはかり、地域的なバランスに配慮した備蓄の充実に努めた。

C 応急復旧体制の確立		
a	防災関係機関との連携をはかりながら、被災者の救援、救護をはじめ、災害ボランティアの受け入れ体制づくりに努めます。また、電気、ガス、水道などのライフライン網の確保をはかるため、被災情報の早期収集と応急復旧体制の確立に努めます。	①社会福祉協議会にボランティアセンターが設置され、マニュアルの策定や災害時のボランティア活動に対応できる体制の整備が進んだ。 ②応急復旧体制の確保のため、群馬県館林市及び岩手県岩泉町と相互応援協定を締結したほか、民間事業所等と災害時応急業務協定を締結した。
b	二次災害を防ぐため、応急危険度判定員の確保に努めます。	被災建物応急危険度判定員養成講座の受講等により、市職員を含め75名の危険度判定委員を確保した。
D 災害応援協定の推進		
a	企業を含めた防災関係団体や、近隣はもとより遠隔地の自治体との相互の災害応援協定を推進し、応援体制の確立に努めます。	近隣市町村をはじめ、群馬県館林市及び岩手県岩泉町と自治体間相互応援協定を締結したほか、民間事業所等と災害協定を締結し、応援体制の確立に努めた。
③ 消防体制の充実		
A 消防力の充実		
a	常備消防については、複雑化、多様化する火災に的確かつ迅速に対応できるよう、化学消防車など近代的な消防機器の充実について、東京都に要請します。	常備消防については、高規格ポンプ車への更新、大神出張所における特別消火中隊の発足、衛星車載局車を配備した衛星通信小隊の運用開始、大神救急小隊の運用開始など、消防・救急対応力の強化がはかられた。
b	非常備消防(消防団)については、災害時に適切に活動できるよう団員の確保と育成に努めるとともに、消防機器の充実をはかります。	①女性消防団員を採用するとともに、消防団員の定員を90名に増員し、消防団員の確保に努めた。 ②消防署と連携し、消防団ポンプ操法大会や水防演習、各種教育訓練を実施し、団員の育成に努めた。 ③消防車両の更新など、消防機器の充実に努めたほか、安全性・機能性に優れた防火衣への更新をはかった。
B 消防水利などの確保		
a	災害時の消防水利などの確保のため、水利の不足する地区を中心に防火貯水槽や消火栓の増設をはかります。また、街頭消火器の設置についても積極的に推進します。	①防火貯水槽未充足地への防火貯水槽設置を進め、充足率は、95.2%となった。 ②消火栓については、1,388箇所となり、10年前の22%増となった。 ③街頭消火器の設置箇所については、近年、ほぼ横ばいとなっている。
④ 医療・救護体制の充実		
A 医療等関係機関との連携強化		
a	災害発生直後に必要な救急医薬品や医療資機材などの確保をはかるため、医療等関係機関との連携を強化します。	①毎年実施している総合防災訓練において、医師会、歯科医師会、整骨師会の参加により災害医療訓練を実施し、医療等関係機関との連携、強化をはかった。 ②昭島市獣医師会と「災害時における動物救護活動に関する協定」を締結した。
B 救助・救急体制の強化		
a	災害発生直後の被害特性に適合した救助・救急活動を推進するため、消防署や警察署及び関係機関と連携し、救助資機材などの整備、充実をはかるとともに、地域での救助・救急能力の向上に努めます。	①災害時の救助・救急活動を推進するため、自主防災組織に救助道具セット等を貸与しているほか、災害時の医療活動のため、医療資材7点セットの備蓄をはかった。 ②災害弱者といわれている、高齢者等への支援のため、自主防災組織、民生委員、消防署等と連携し、災害時要援護者登録制度を開始した。

第1 人が輝く(明るい地域社会の形成)		
2 市民の安全を守る(安心・安全の確保)		実施状況
(2) 防犯		
① 防犯活動の推進		
A 防犯意識の高揚		
a	犯罪を未然に防止し、明るい地域社会を築くため、広報活動や市民参加による防犯活動を展開し、市民の防犯意識の普及、高揚に努めます。	青パトを活用した市民参加による防犯活動を推進した。

B	地域環境の浄化	
a	青少年の非行防止など、明るく健全な地域社会づくりを推進するため、家庭、学校、地域、職場が一体となって犯罪の誘発防止をはかり、地域環境の浄化に努めます。	①青少年とともにあゆむ小学校地区委員会、青少年とともにあゆむ中学校地区連絡会及び青少年補導連絡会の活動を支援し、地区委員会活動の充実に努めた。 ②これらの団体により、危険箇所点検、安全パトロールなどが実施された。
C	地域防犯体制の充実と支援	
a	防犯協会や自治会、警察署などの関係機関と連携して、地域ぐるみの防犯体制の充実に努めます。	安全・安心まちづくり推進協議会及び連絡会を設置した。
② 防犯施設の整備		
A	街路灯の整備	
a	夜間の犯罪防止と歩行者の安全を確保するため、引き続き街路灯の整備を進めます。	計画的に街路灯の整備を進めるとともに、住民等の要望に応じて新設や照度アップをはかった。
B	交番・駐在所の増設	
a	多様化する犯罪から市民の安全を守るため、市街化の状況や地域性などを考慮し、交番・駐在所の増設と防犯パトロールの強化を関係機関に要請します。	交番の増設及び防犯パトロールの強化を要請している。

第1 人が輝く(明るい地域社会の形成)		実施状況
2. 市民の安全を守る(安心・安全の確保)		
(3) 交通安全		
① 交通安全意識の普及、啓発		
A	交通安全教育の推進	
a	交通事故の多くは、交通安全ルールを守らないことから発生しているため、関係機関の協力を得ながら保育園、幼稚園、小中学校、老人クラブなどを対象に安全教育を推進します。	参加・体験型の自転車交通安全教室を実施した。
B	広報活動の充実	
a	市民一人ひとりに交通安全意識の普及、啓発をはかるため、広報紙、広報ポスターや街頭キャンペーンなどを活用し広報活動の充実に努めます。	ポスター、街頭キャンペーン、広報車、懸垂幕等により広報活動を行った。また、各種イベント会場において啓発活動を実施した。
C	交通安全運動の推進	
a	市民一人ひとりが交通安全意識を高め、交通事故防止に努めるよう、春・秋の交通安全運動を中心とした交通安全運動を展開します。	交通安全運動期間には、交通安全市民のつどいの開催や、横断幕の掲出、広報車による広報等の啓発活動を実施した。
② 交通安全の確保		
A	交通安全施設の整備	
a	歩行者・自転車優先の立場に立ち、高齢者などの交通弱者に配慮した交通安全施設や路面表示の整備を進めます。また、だれもが安全に安心して通行できるよう、必要に応じて道路構造の改善なども進めます。	カーブミラー、ガードレール、道路鋸、道路標識、外側線等路面表示などの整備に努めた。
B	交通の規制	
a	歩行者・自転車優先の立場に立ち、高齢者などの交通弱者に配慮した交通安全施設や路面表示の整備を進めます。また、だれもが安全に安心して通行できるよう、必要に応じて道路構造の改善なども進めます。	地域住民等の要請を受け信号機の設置・改善や横断歩道の設置等を警察署に要請し、その実現をはかった。
C	自転車利用の適正化の推進	
a	自転車の正しい通行方法や利用方法を普及、啓発するとともに、安心して自転車が利用できるよう自転車駐車場の整備を進めます。また、安全に自転車が利用できるよう、歩道の拡幅など道路環境の整備を進めます。	年齢に応じた自転車交通安全教室を実施した。また、自転車等駐車場等の整備を進め、放置自転車については年々減少している。
D	踏切道の改善	
a	危険な踏切については、関係機関に引き続き改善要請を行います。	拜島駅自由通路の完成にともない、北143号踏切が閉鎖された。
③ 被害者救済制度の充実		
A	相談体制の充実	
a	交通事故に遭われた方の救済のため、関係機関の協力のもとに相談体制の充実に努めます。	交通事故相談を実施した。
B	交通災害共済の充実	
a	交通災害共済制度の充実をはかるとともに、引き続き加入の促進に努めます。	①広報やパンフレットによるPRを行った。 ②見舞金支給日を月1回から2回に改善した。

第2 暮らしを支える(健康と福祉の充実)		実施状況
1 健康に暮らす(市民の健康づくり)		
(1) 健康・医療		
① 健康づくりの推進		
A	健康に関する知識の普及、啓発	
a	健康教育の充実をはかり、生活習慣病の予防や健康増進など、健康に関する正しい知識の普及に努めます。またあわせて、市民一人ひとりが「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚をもつよう、その意識啓発を進めます。	①保健福祉センター(あいぼっく)を開設し、健康に関する知識の普及、啓発に努めた。 ②60歳からの健康づくり教室、糖尿病予防教室等。など各種教室を開催した。
B	健康づくり推進活動の充実	
a	健康づくり推進協議会活動を一層充実するため、地域に健康づくり推進員を設置するなど、地域での健康づくり活動を推進し、市民の健康の保持増進に努めます。	健康づくり推進協議会活動の充実をはかり、いきいき健康フェスティバルの実施など市民の健康の保持増進に努めた。また、美しい歩き方指導者養成講座など、健康づくりの指導者養成をはかった。
② 保健・予防対策の推進		
A	健康相談、保健指導の充実	
a	市民が生涯を通じて健康が保持できるよう、健康相談、保健指導などの充実をはかります。	女性の健康相談や保健栄養相談、妊産婦・新生児訪問指導など各種健康相談、保健指導を実施した。
b	市民の健康の保持増進、疾病予防のため、栄養状態や食生活の改善などライフステージに応じた栄養指導を進めます。	保健栄養相談や幼児食講座、糖尿病栄養教室など各種栄養指導を実施した。
c	在宅で寝たきりの状態にある人やその家族、また妊産婦や新生児などに対する訪問指導を充実します。	妊産婦・新生児訪問指導事業やこんにちは赤ちゃん事業などを実施した。
d	ストレスによる心の病などに対して心の健康づくりを推進するとともに、精神障害者に対する理解をより一層深めるため、保健所や医療機関との連携をはかりながら啓発活動を進めます。また相談体制の整備にも努めます。	①関係機関と連携し、心の健康に関する普及・啓発に努めた。 ②ホームページに相談窓口を掲載した。 ③自殺防止対策に関して、リーフレット等で周囲者への啓発を図った。
B	各種健康診査の充実	
a	妊産婦、乳幼児、成人に対する健康診査や各種検診の拡充をはかり、疾病の予防と早期発見に努めます。	①各種健康診査やがん検診などを定員を拡大して実施した。
C	感染症対策の充実	
a	感染症の発生や流行を防止するため、関係機関の協力と保護者の理解のもとに各種予防接種を行い、あわせて接種率の向上に努めます。	予防接種事業や結核予防事業を実施するなか、接種率の向上に努めた。任意ワクチン接種事業にも取り組み、平成22年7月から子宮頸がんワクチン、平成23年度からは小学生以下の小児へのインフルエンザワクチン接種事業にも着手した。
b	感染症から市民の健康を守るため、保健所や関係機関との連携により感染症疾患の予防に努めます。	①予防接種事業や結核予防事業などを実施し、感染症の予防に努めた。 ②保健所会議へ参加し、情報の収集や連携の強化に努めた。
c	感染予防と偏見のない社会づくりに向けた普及、啓発を進めます。	①予防接種事業や結核予防事業を実施するなか、関係機関と連携し、感染症に関する正しい知識の普及に努めた。 ②広報紙やホームページを活用し、情報の提供に努めた。
③ 地域保健医療の整備		
A	地域保健医療の推進	
a	市民が日頃から健康や医療について、気軽に相談、診療を受けられる家庭の主治医としての「かかりつけ医」づくりを推進します。同時に、市民がいつでも身近なところで適切な医療サービスが受けられるよう、医療機関相互の連携強化について要請します。	健康相談や健康教室等を通じて市民への啓発をはかった。
b	在宅療養者の心身の機能維持・回復のため訪問指導を充実するとともに、身近な場で機能訓練などができるようハビリテーション体制の確保と充実に努めます。	介護保険事業により、介護サービスや介護予防事業を実施した。

c	市民に的確な医療情報を提供できるように、救急医療や保健・医療情報のネットワーク化を推進します。	東京都が設置する「医療情報に関する理解を促進する会」へ参加し、医療情報の効果的な提供方法や市民と医療機関の情報の共有化などの検討を進めた。
B	献血運動の推進	
a	献血者の減少によって患者のもとへ届けなければならない血液が不足することがないよう、引き続き献血推進協議会を母体として、より広く市民に献血を呼びかけていきます。	献血推進事業を定期的実施し、市民への献血への理解と協力を呼びかけた。
C	休日・夜間診療の整備	
a	休日や夜間など受診が困難な時間帯に、適切に医療サービスの提供ができるよう、関係機関の協力のもとに休日・休日準夜応急診療の充実に努めます。	休日応急診療、休日準夜応急診療及び休日歯科応急診療を実施した。
D	救急医療の整備	
a	急病や災害発生など、緊急時における医療機会を確保するため、医療機関と協力して、必要かつ適切な医療が受けられるよう救急医療体制の整備に努めます。	医師会や歯科医師会との連携により、市が実施する防災訓練への参加など、災害時の医療体制の整備に努めた。

第2 暮らしを支える(健康と福祉の充実)		実施状況
1 健康に暮らす(市民の健康づくり)		
(2) 保険・年金		
① 国民健康保険		
A	保険財政の健全化	
a	健康管理に関する啓発活動を推進します。また、口座振替の利用促進など加入者が納税しやすい環境づくりを進め、収納率の向上に努めます。あわせて、レセプト点検事務の充実などにより医療費の適正化に努めます。	①口座振替の推進や休日・夜間納税相談窓口の開設など納税相談の充実をはかり、収納率の向上に努めた。 ②専門知識のある嘱託職員によるレセプト点検など医療費の適正化に努めた
b	医療保険制度の抜本的改革と国民健康保険事業の財政基盤の安定化について国や東京都に要請します。	財政基盤の安定化について、全国市長会及び東京都市国民健康保険協議会による要請を実施した。
B	保健事業の充実	
a	国民健康保険制度の現状について広報活動を通じて市民(被保険者)に理解を求めるとともに、市民の健康の保持増進のため、保健活動の充実をはかります。また、疾病の予防、保健衛生思想の普及、啓発に努めます。	広報紙などを活用し、国民健康保険に関する理解や制度の普及、啓発を行うとともに、健康教育に係る講演会の開催や特定健診・保健指導事業の実施により、市民の健康の保持に努めた。
b	スポーツ・レクリエーションを奨励し、市民の健康の保持増進に努めます。	スポーツ振興計画の策定や総合型地域スポーツクラブの支援などを通して、生涯スポーツの普及をはかり、市民の健康の保持増進に努めた。
② 介護保険		
A	介護保険制度の円滑な執行	
a	介護保険制度の運営の基本である介護保険事業計画に基づき、適切な事業の執行体制及び計画的な介護サービス提供体制の確立に努めます。	①介護保険事業計画を策定し、3年ごとに見直しをはかっている。 ②介護保険推進協議会、地域包括支援センター運営協議会、地域密着型サービス運営委員会の開催。 ③介護保険事業者への実地指導を実施した。 ④認定調査の質の向上・平準化をはかるため、認定調査員の研修会を開催した。
b	介護認定審査会の適切な運営をはかります。	迅速・効率的に審査判定業務を行うため、保健・医療・福祉の専門家である4人の委員で構成する8組の合議体を設置し、それぞれ月2回を基本に審査会を開催し、分担して審査判定業務を行っている。
B	介護サービス基盤の充実	
a	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)などの介護保険施設の充実に努めます。また、民間企業の活用をはかり、幅広いサービス供給主体を確保するとともに、ホームヘルパーなどの人材確保とその資質の向上に努めます。	あきしま地域福祉ネットワークを通じて、研修会、講演会を開催し、介護人材の資質の向上に努めた。

C 健全な事業運営の確保		
a	介護保険特別会計の健全な運営のため、負担の公平化の観点から適正な賦課をはかり、保険料収納と保険給付のバランスを考慮し財源の確保に努めます。	催告書や督促状の発送、休日窓口の開設、昼夜間の訪問徴収など、保険料の収納に努めた。
b	安定運営のための財政措置などについて、関係機関に要請します。	市長会等を通じて、国に対して財政措置の拡充を要請した。
③ 国民年金		
A 加入の促進		
a	国民年金制度の普及をはかるとともに、年金加入の促進に努めます。また、口座振替を進め保険料の納付の促進をはかるとともに、納付困難な被保険者を対象とする相談などを行います。	①広報紙やホームページを活用し、国民年金制度周知に努めるとともに、年金相談などにより年金加入の促進をはかった。 ②窓口での資格取得時等における国民年金保険料納付督促、口座振替・前納を促進した。 ③日本年金機構と連携し納付困難者に対し保険料の免除申請の勧奨を行い、国民年金保険料未納者対策の強化をはかった。
B 制度の充実と安定		
a	国民年金の財政的安定や安心して暮らせる年金の実現に向けて、制度の充実を国に要請します。	市長会、国民年金協議会等を通じ、年金制度の充実を国に要請した。

第2 暮らしを支える(健康と福祉の充実)		実施状況
2 地域で共に生きる(地域福祉の充実)		
(1) 児童福祉		
① 児童育成プランの推進		
a	次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育ち、親たちが安心して子育てができる社会の実現をめざし、子どもと子育て家庭の支援策を総合的、計画的に推進します。	次世代育成支援行動計画を策定し、子どもと子育て家庭に対する総合的、計画的な支援をはかった。
② 子育て家庭への支援		
A 家庭における子育て支援		
a	子育てについて不安や悩みに対応するため、子育て相談体制の充実や子育て情報の提供、親子の交流の場や学習の場の提供とともに、安心して子どもを産み育てることができるよう、子ども家庭支援センターの整備や子育て広場の充実に努めます。	①親子の交流の場や情報提供の充実をはかるため、子ども家庭支援センターを整備し、子育てひろばなしのき・つどいのひろば・子育てひろば事業を実施した。 ②各保育園で子育て相談の実施や園庭開放などにより、地域交流をはかった。
b	地域における育児力を高めるため、子育てボランティアの確保や子育てグループの育成に努め、家庭と地域が一体となって、子育てを支える体制をつくります。	子育て支援を行うグループやボランティアを支援するため子育てグループネットワーク連絡会を開催した。
c	地域で働く女性が仕事と家庭を両立できるよう、ファミリーサポートセンター事業を推進します。	子育ての支援が必要な家庭(利用会員)と支援が出来る家庭(協力会員)を会員登録し、相互に援助を行うファミリーサポートセンター事業を実施した。
B 保育サービスの充実		
a	保育園については、乳幼児人口の動態と地域の保育需要を勘案し、定員の見直しを検討します。	認可保育所の分園開設や認証保育所の開設により、定員の増をはかった。
b	延長保育、障害児保育、緊急一時保育、休日保育など、多様な保育ニーズに対応できるよう、保育内容の充実、整備に努めるとともに、保育士の研修を充実します。	延長保育、一時保育の実施や休日保育、病後児保育の開始など、保育内容の充実に努めるとともに、保育士研修を実施した。
c	放課後児童対策や地域における子育て対策として、学童クラブの充実に努めます。	①学童クラブの施設改修や定員の見直し、第2学童クラブの開設などにより、学童クラブの充実に努めるとともに、待機児童の解消をはかった。 ②学童クラブ待機児童居場所づくり事業や放課後子ども教室の実施により、放課後児童の居場所づくりを行った。
③ 児童の健全育成		
A 子どもの人権の尊重		
a	児童の人権に関する条約の周知と啓発に努めます。また、深刻な社会問題となっている児童虐待に対応するため、関係機関による協議会を設置し、虐待されている子どもの早期発見と保護に努めます。	要保護児童対策地域協議会を開催し、児童虐待の防止と早期発見、子どもの保護に努めた。

B	児童遊園などの整備 a 児童の健全な生活環境の確保をはかるため、児童遊園の設置に努めるほか、市内の遊休地を遊び場として利用できるよう、一時開放子ども広場の確保に努めます。	①児童遊園については11箇所設置し、全体で49箇所となった。 ②一時開放子ども広場は、現在は6箇所で開催している。
C	児童館の建設 a 児童の健全育成をはかるため、児童館の建設に努めます。	児童センター(ぱれっと)を開設した。
④ ひとり親家庭福祉の推進		
A	相談機能の充実 a ひとり親家庭に対する生活相談や育児相談などの相談機能を充実します。	母子・女性相談員を2名体制にするなど、相談機能の充実に努めた。
B	援助施策の充実 a ひとり親家庭の生活の安定と自立をはかるため、医療費助成や児童扶養手当などの充実について関係機関に要請します。 b 生活福祉資金、母子福祉資金などの充実や住宅の確保に努め、あわせてホームヘルプサービス事業などの援助施策の充実に努めます。	全国市長会を通し関係機関への要請を行った。 高等技能訓練促進費事業、教育訓練給付金事業を開始した。

第2 暮らしを支える(健康と福祉の充実)		実施状況
2 地域で共に生きる(地域福祉の充実)		
(2) 高齢者福祉		
① 高齢者プラン(高齢者保健福祉計画)の推進		
a	高齢者が地域で健康で豊かな生活を続けていけるまちをめざし、介護保険事業計画及び高齢者プランを基本に、総合的な視点にたって効果的・効率的に高齢者保健福祉事業を実施します。	介護保険事業計画を策定し、3年ごとに見直しをはかっている。
② 生きがい対策の推進		
A 社会活動への参加促進		
a	高齢者の社会参加を促進するため、保健福祉センター、高齢者福祉センターなどを活用し各種イベントを開催するほか、情報提供などについても積極的に進め、生きがいづくりの場と機会の拡大に努めます。	①一般高齢者・二次予防事業対象者に介護予防事業(機能訓練・筋トレ等)を実施している。 ②松原町高齢者福祉センター内に老人クラブ連合会事務所を設置し、市内の各老人クラブへの情報を発信している。 ③高齢者福祉センターで老人クラブ連合会主催の展覧会・芸能大会・料理教室・体力測定・健康体操などを実施している。 ④松原町高齢者福祉センターに陶芸窯を設置し、高齢者団体が陶芸創作をし、年1回合同発表会を実施している。
b	地域の高齢者が自主的に組織している老人クラブの活発な活動を促すため、会員間の交流だけでなく、地域住民との交流、世代間の交流などを推進します。また、未加入者の加入促進などにも努め、組織の積極的な育成をはかります。	①老人クラブ連合会に運営を委託し、老人週間に敬老大会を実施した。 ②敬老大会での児童ボランティアの会場誘導や、老人クラブの児童の登下校時における見守り活動への参加など、世代間の交流を進めた。 ④老人クラブの新規組織化を進め、現在54クラブとなっている。
c	高齢者の趣味や特技をいかした、シルバー人材センターの充実やボランティア活動への支援をはかります。	シルバー人材センターに委託し、地域の高齢者の特技を生かし、イキイ・ニココ介護予防教室事業(12教室)を開催した。
B 健康づくりの推進		
a	ゲートボールの普及のほか、加齢にともなう体力の低下を考慮し、高齢者に適したスポーツ・レクリエーションの振興と指導者の養成に努め、高齢者の健康増進をはかります。	①一般高齢者・二次予防事業対象者に介護予防事業を実施した。 ②イキイ・ニココ介護予防教室で軽体操や栄養講座などを実施した。 ③市内の銭湯に委託しシルバーゆうゆう事業を実施した。
b	健康管理の必要性について啓発し、あわせて高齢者の健康上の不安に適切にこたえるため、健康相談業務の拡充に努めます。	①地域包括支援センターでの相談体制の充実強化をはかった。また、保健士を中心に介護予防教室を実施した。 ②二次予防対象者に、機能訓練事業等を実施した。

C	学習活動などの推進	
a	高齢者のさまざまな知識や趣味などをいかした自主的な学習活動に対する支援をはじめ、実りある高齢期を過ごせるよう学習の機会や場の充実に努めます。	①イキイ・ニココ介護予防教室で書道や水彩画、脳トレーニングなどの教室を実施した。 ②昭和郷シニア大学(園芸科及び陶芸科)を開催した。
D	高齢者福祉センターの充実	
a	老人クラブ活動や各種趣味活動など、高齢者の生きがい対策を展開する場として、高齢者福祉センターの増設を含め、施設の充実に努めます。	既存3つの高齢者福祉センターの設備の適切な維持管理に努めた。
③ 生活の安定		
A	生活基盤の安定	
a	高齢者の経済的不安を解消し、安定した生活ができる所得を確保するため、社会保障制度の充実を関係機関に要請します。	様々な機会をとらえ、社会保障制度の充実を関係機関に要請した。
b	健康で働く意欲のある高齢者に対して関係機関と連携し、その支援をはかります。	就労希望者に対し、立川商工会議所無料職業紹介所やシルバー人材センターを紹介している。
B	住宅の確保	
a	一人暮らしの高齢者や高齢者世帯が地域で自立した生活ができるよう、都営住宅の建て替えなどに際しては引き続きシルバーピアを確保するほか、民間住宅の借り上げやあっせんなどを進め住宅の確保に努めます。	自立支援・介護予防のために高齢者住宅改造費助成事業を実施した。
C	相談機能の充実	
a	高齢者が安心して生活できるよう、生活相談や電話相談など日常生活全般にわたる各種相談業務の充実に努めます。	①地域包括支援センターで総合相談を実施した。 ②単身高齢者に対し電話訪問相談事業を実施した。
b	判断力が低下した高齢者などの権利を擁護する「成年後見制度」や「地域福祉権利擁護事業」の周知と活用をはかります。	①地域福祉・後見支援センターあきしまの開設にとまない、社会型後見人の養成を実施している。 ②地域包括支援センターで専門的・継続的な相談及び支援を行った。
④ 高齢者福祉サービスの充実		
A	在宅サービスの充実	
a	高齢者が住み慣れた地域で在宅福祉サービスが受けられるよう、高齢者在宅サービスセンターや在宅介護支援センターの整備、ホームヘルパーの確保などに努めます。	地域包括支援センターを中心として、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続することができるよう、各種サービスの充実に努めた。
B	施設サービスの充実	
a	介護保険施設サービスが円滑に受けられるよう、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設及び関係機関と連携し事業の充実に努めます。	①認知症対応型通所介護事業所を拡充しサービス基盤の整備をはかった。 ②グループホームの防火対策整備事業を実施し入居者の安心・安全の確保をはかった。
b	在宅での介護が困難な高齢者が介護老人福祉施設を利用できるよう、ベッドを確保します。	介護老人福祉施設に補助金を交付し、市民のためのベッドを確保している。(愛全園50床・もくせいの苑28床・フジホーム50床)

第2 暮らしを支える(健康と福祉の充実)		実施状況
2 地域で共に生きる(地域福祉の充実)		
(3) 障害者福祉		
① 障害者プランの推進		
a	障害者の自立と社会参加の実現を目的とした障害者プランに基づき、障害者施策を総合的、計画的に推進します。	障害福祉計画の策定及び見直しをはかり、ノーマライゼーション理念の推進と自立の支援に努めた。
② 保健医療の充実		
A 障害の予防と早期発見		
a	妊娠時の母体保護、成人病予防のための知識などについて、広報活動や健康教育、健康相談を通じて徹底をはかります。また、医療機関との連携を強め検診体制の整備をはかり、障害の予防や早期発見に努めます。	健康相談や健康診査、妊産婦や新生児の訪問指導などの充実をはかり、障害の予防や早期発見に努めた。

B	医療費助成制度の充実 a 障害者への医療費助成制度の充実を関係機関に要請し、心身障害者の福祉の増進をはかります。	医療費助成制度の充実を関係機関に要請した。
③ 在宅福祉の充実		
A	福祉施設の充実 a 障害者福祉サービスの拠点施設としての保健福祉センターの機能の充実に努め、障害者の地域における自立を支援し、社会参加の促進に努めます。 b 障害者が地域で自立した生活がおくれるよう、障害者地域自立生活支援センターの設置と充実に努めます。	①保健福祉センターにおいて、生活介護等障害者の自立を支援するさまざまな事業を実施している。 自立生活支援事業の実施により、障害者が自立した生活がおくれるための支援に努めた。
B	相談体制の充実 a 障害者や家族からの幅広い相談に対して、情報の提供、問題解決への助言や調整を行うとともに、他の相談支援機関とのネットワーク化をはかり、総合的な相談体制づくりを推進します。	障害者のための相談支援機関を設置し、相談支援体制の充実に努めるとともに、学習会等により相談支援機関相互の連携をはかった。
C	サービスの充実 a ノーマライゼーションの理念から、障害者が可能な限り住み慣れた地域で暮らせるよう、在宅障害者を介護するホームヘルプサービス事業や全身性障害者介護人派遣事業、家族の介護を軽減するためのショートステイ事業、デイサービス事業など、障害者の特性や障害の程度に応じたサービスの充実に努めます。	保健福祉センターにおいて、障害者ショートステイ事業を実施するなど、サービスの充実に努めた。
D	自立・更生の支援 a 障害者が地域で自立して生活できるよう、介助サービスを提供する自立生活支援の整備をはかるとともに、一人暮らし障害者などの緊急時に対応できる安心のしくみを充実します。 b 一般就労が困難な障害者や養護学校卒業後の障害者に対して、福祉的就労の機会を創出するため、就労移行・就労継続支援事業などの整備拡充を進めます。	障害者世帯における緊急事態がわかるように、緊急通報システム設置事業を実施するなど、自立した生活への支援に努めた。 ①23年度において、環境コミュニケーションセンター施設を利用した就労移行・就労継続支援事業所を開設した。 ②障害者の福祉的就労の機会を創出するため、授産・福祉作業所等への支援に努めた。
E	経済的安定の支援 a 障害者の経済的自立を促進するために、障害基礎年金などの充実を関係機関に要請します。	障害者の経済的自立に向け、関係機関への要請に努めた。
④ 自立と社会参加の促進		
A	情報化の推進 a 障害者が能力をいかし、自立し進んで社会に参加できるよう、十分な情報の収集に努めるとともに、情報提供機能の充実をはかります。	①日常生活用具給付事業の中で情報収集関連機材を給付している。 ②点字・声の広報を毎月発行し、市民図書館に閲覧用を配置している。 ③視覚障害者が気軽に読書が出来るように、点字・録音図書の貸出しを行っている。
B	教育の充実 a 就学前の児童施設として、保健福祉センター内に心身に障害のある児童のための通所訓練施設を設置します。 b 相対的に発育に遅滞がみられる児童・生徒に対し、指導、機能訓練を通じて発育、発達をうながします。 c 学校教育、社会教育において交流教育を推進するとともに、講座や講演会などの福祉教育の充実に努めます。	保健福祉センターにおいて障害児のデイサービスを実施しており、生活訓練等を行っている。 障害児のデイサービスや特別な支援を必要とする児童・生徒への療育の充実に努めた。 学校教育における交流教育の実施や福祉に関する講座の実施などに努めた。
C	雇用・就労の促進 a 障害者の雇用、就労の場の確保に向けて、民間企業の協力を求めながら情報収集に努め、障害の程度に応じた適切な仕事につけるよう、企業に対し協力を要請します。また、協力企業の表彰制度について検討します。	障害者就労支援事業を実施し、民間企業の協力を得ながら、障害者の就労を進めている。
⑤ 精神障害者への支援		
a	精神障害者の社会復帰を促進するため、福祉的就労の場となる共同作業所やグループホームなどを支援します。	精神障害者の授産施設や共同作業所関係者との協議の場を定期的に設定し、その支援を行っている。

b 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」の改正にともない、保健所などの関係機関と連携をはかり、精神障害者が地域で生活していくための支援について検討します。	保健所の保健師を招き、精神学習会を開催したり、保健所の会議にも市の職員が参加し、精神障害者への支援について連携をはかっている。
--	---

第2 暮らしを支える(健康と福祉の充実)		実施状況
2 地域で共に生きる(地域福祉の充実)		
(4) 生活の保護・支援		
① 自立への支援		
A 自立支援		
a 低所得世帯の自立助長をはかるため、民生委員や社会福祉協議会など関係機関と連携し、相談の充実に努めます。	①民生委員や社会福祉協議会などの関係機関と連携して自立助長を必要とする低所得世帯への相談に努めている。 ②相談体制の充実を図るため、面接相談専門の職員を2名配置している。	
b 生活福祉資金の貸付など低所得世帯に対する各種公的貸付資金について、社会福祉協議会と連携し、その充実ははかります。	相談に来られた低所得世帯に対して、生活福祉資金の案内を行っている。	
c ハローワークなどの関係機関と連携した就業の支援をはかります。	①ハローワークと連携して、就職活動のためのセミナーを開催した。 ②就労支援員がハローワークと連携し就労活動を支援している。	
B 生活援護		
a 生活保護世帯の生活実態を的確に把握し、実情に即した指導や助言を行い、生活保護の適正な実施に努めるとともに、制度の充実に向け、国や東京都に対し改善を要請します。	①就労支援員による就労指導や保健指導員による保健指導などの実施により、保護の適正実施に努めた。 ②保護制度の充実について、国や東京都に要請した。	

第3 人を育む(生涯学習の充実)		実施状況
1 学校で学ぶ(学校教育の充実)		
(1) 幼児教育		
① 家庭教育の機能充実		
A 学習機会などの拡充		
a 乳幼児をもつ親を対象とした教室を開催するほか、自主的なサークル活動を支援し、親同士の情報交換や交流を促進します。	乳幼児の保護者同士の情報交換や交流を目的に育児講座を実施した。	
b 親と子のための講座や親子スポーツ教室など、学習とふれあいの機会の拡充に努めます。	子どもと親の家庭教育講座を実施した。	
B 啓発・相談事業の推進		
a 家庭教育の大切さについて啓発を行うとともに、子ども家庭支援センターや子育て広場を活用し、子どもの保育や教育に不安をもつ親の多様な相談にこたえる相談事業の拡充に努めます。	子ども家庭支援センターや子育てひろば、つどいのひろばなどを活用し、子育てに関する情報提供と相談事業の充実をはかった。	
b 家庭教育に保健・福祉分野の視点を組み込み、子育てや保育に関わる情報提供を行います。	子どもと親の家庭教育講座を実施するとともに、子ども家庭支援センターや子育てひろば、つどいのひろばなどを活用し、情報の提供に努めた。	
② 地域教育の向上		
A 交流の場の整備		
a 児童遊園や一時開放子ども広場の確保、児童館の建設など、交流の場の整備拡充に努めます。	①児童センター(ぱれっと)を設置した。 ②児童遊園については11箇所設置し、全体で49箇所となった。 ③一時開放子ども広場は、現在は6箇所で開催している。	
B 健全な教育環境の醸成		
a 豊かな人間形成に向け、家庭と地域が一体となって、健全な教育環境の醸成に努めます。	①子どもと親の家庭教育講座を実施した。 ②青少年とともにあゆむ小学校地区委員会、青少年とともにあゆむ中学校地区連絡会、青少年補導連絡会等の団体が、危険箇所点検、安全パトロールを実施するなど地域の健全な教育環境の確保に努めている。	
③ 幼稚園・保育園教育の充実		
A 教育内容の充実		
a 幼児との関わりをもち、その指導を行う教職員の研修に助成を行い、幼稚園教育の充実に努めます。	幼児教育を担う教職員の研修に対して補助を実施した。	

	b 保育園での教育の充実に努めます。	遊びを通じて、衛生、体育、集団生活、言語、表現、観察、制作等の教育的活動を実施した。
B	就園の奨励	
	a 集団生活を体験し、身近な社会性を育成する幼稚園への就園を奨励します。また、保護者の経済的負担軽減のため、保育料などに対する助成の充実をはかるとともに、国や東京都へ現行諸制度の拡充を要請します。	①保護者負担軽減補助及び就園奨励費については、多子に対する配慮から、額の改定を行なった。 ②市長会を通じて制度の拡充を要請した。

第3 人を育む(生涯学習の充実)		実施状況
1 学校で学ぶ(学校教育の充実)		
(2) 学校教育		
① 教育内容の充実		
A	教育活動の充実	
	a 体験的な学習活動を重視し、児童・生徒が自ら学び、自ら考える力の育成をはかるとともに、問題解決的学習や課題選択学習など、児童・生徒一人ひとりの興味・関心や習熟度・特性などに応じた教育活動を展開し、個性をいかす教育を推進します。	昭島市教育振興基本計画に基づき、各学校が経営計画を策定し、児童・生徒の学力向上のため学力向上推進プランの作成、学習支援員等の配置を行い、少人数指導や個別指導を充実させた。
	b 道徳教育の充実をとおして心の教育の推進をはかるとともに、スクールカウンセラーや関係教育相談機関などと連携し、いじめや学校不適応児童・生徒の解消に努めます。	①小・中学校における道徳授業の活性化をはかるため道徳授業地区公開講座を開催した。 ②全小学校に教育相談員(臨床心理士)を配置し、教育相談体制を充実した。
	c 国際化、高度情報化など、時流をとらえた教育内容の充実をはかります。	①ICTを活用した授業を実施した。 ②小学校の外国語活動に授業ALT(外国語指導助手)を派遣した。
	d 進路指導においては、その本来の目標である「生き方」指導の視点からの充実をはかるとともに、都立高等学校の個性化が進むなか、上級学校などとの連携をはかりながら、児童・生徒の個性や適性をいかした進路指導を推進します。	小学生の職場見学、企業と連携した出前授業、中学生の職場体験、上級学校訪問を実施し、望ましい勤労観・職業観の育成をはかった。
	e 特別支援学級においては、個別指導計画に基づき、児童・生徒一人ひとりの能力や特性を十分に理解した、きめ細かな個別指導を行うなど、特別支援教育の充実に努めます。	児童・生徒一人ひとりに応じた指導を行うため、個別指導計画を作成し指導の充実をはかった。
B	教職員研修・研究の充実	
	a 人権尊重教育、男女平等教育、環境教育など、多くの教育課題に対応するため、幅広い研修内容を設定するとともに、授業研究、事例研究、ロールプレイなど、体験的な方法を取り入れるなど、研修の充実をはかります。	人権課題に焦点を当てた授業の提案や、教育相談・情報教育等の教育課題に沿った研修、授業研究など授業力向上のための研修、体験的な研修を充実させた。
	b 各学校における特色ある教育活動推進のための校内研究を支援します。	教育研究の奨励をはかるため、各学校から応募があった個人またはグループの教員に研究を委託するとともに、校内研究推進校の指定を行った。
C	教材、教具の充実	
	a 児童・生徒にコンピュータ操作の基礎・基本の定着をはかり、コンピュータや情報通信ネットワークに慣れ親しむことができるよう、全校にコンピュータを配置します。	小中学校全校に、1校40台環境のコンピュータ教室を設置するとともに、各教室でインターネットが活用できる環境を整備した。
	b 学習指導における教育効果を高めるため、学校図書館の充実に努めます。	学校図書館システムを導入し、図書利用環境等の充実をはかるとともに、蔵書の計画的な購入に努めた。
D	学校、家庭、地域の連携	
	a 家庭や地域との連携をとおして「開かれた学校」の推進をはかります。	各学校が自己評価及び学校関係者評価を実施し結果を公表した。また、第三者評価を実施した。
	b 地域の教育力を活用するため、地域の人材を学習指導補助者として登用するとともに、地域の自然環境などを活用した学習指導を推進します。	授業中及び放課後の学習、学校行事や部活動の指導補助等のため、各学校の必要に応じて教育活動支援者を配置した。
	c 「学校評議員」の組織を校内に設置し、保護者や地域の人々の声が学校運営に反映されるよう努めます。	学校経営の改善を進めるため、各学校に学校評議員を置き、年に数回評議員会を開催した。

② 学校施設の整備・充実		
A 校舎の改修整備		
a 耐震化を含めた大規模改造、除湿温度保持機能復旧工事、便所改修及び教室改修など、既存校舎の改修整備に努めます。		①校舎・体育館の耐震化については、平成23年度に完了する。 ②除湿温度保持機能復旧工事については、年次計画を基に年1校を実施した。
B 体育館、プールの整備		
a 体育館、プールは、児童・生徒の健やかな成長と体位の向上をはかるために不可欠な施設であり、引き続き整備に努めます。また、身近に利用できるスポーツ施設として、体育館の地域開放を進めます。		①体育館については、耐震工事と併せ、照明等の交換を実施した。 ②プールについては、プール本体のシート防水加工工事、プール浄化装置改修工事を順次実施した。
C 余裕教室の整備		
a 余裕教室を活用し、コンピュータールーム、ランチルーム、多目的教室など、時代の変化に対応した、より豊かな教育施設の整備をはかるとともに、福祉サービスや生涯学習の拠点として、地域住民が利用できるようバリアフリー化にも配慮した地域開放施設としての整備をはかります。		①コンピュータールームは全校に、また、ランチルームは小学校12校に設置している。 ②余裕教室の活用により、少人数学級や放課後子ども教室を実施している。 ③体育館の耐震工事に併せ、誰でもトイレや出入口スロープを設置した。
D 屋外環境の整備		
a 校庭の緑化を推進し、緑豊かな屋外環境の整備をはかります。		①小学校3校で校庭芝生化を実施した。 ②小学校3校の校庭にビオトープを設置した。 ③緑化対策として毎年学校に苗木を配布している。
E 学校の適正規模・適正配置等の検討		
a 「昭島市立学校適正規模適正配置等審議会」の答申内容に基づき、学校の規模や配置の適正化について検討を進めます。		審議会答申に基づき、通学区域の一部変更を行った。
③ 学校給食の充実		
A 安全で豊かな給食の提供		
a 米飯給食や献立内容などの充実に向けて、さらに創意工夫を重ねるとともに、個別食器の採用にも取り組み、より豊かで楽しい給食の提供に努めます。		①週3回の米飯給食を実施している。 ②学校給食共同調理場の小学校給食を1コース制とし、新規メニューの採用など献立内容の充実をはかった。 ③自校調理方式校では、個別食器の導入済みとなっている。また、学校給食共同調理場の小学校給食では、椀2個付けを実施している。
b 給食の安全衛生については、食品衛生検査などの充実と安全衛生基準の徹底に努めます。		①食品衛生検査を年3回定期的実施。また、安全衛生基準の徹底及び学校給食用物資購入基準に基づく食材料調達徹底をはかった。 ②平成23年3月11日の東日本大震災に伴う、東京電力福島第一原子力発電所の事故により、計画停電への備えや、放射性物質による食品汚染への対応を図り、安全衛生の保持に努めた。
B 施設・設備の整備改善		
a 学校給食共同調理場については、既存建物及び給食施設の整備をはかるとともに、より安全で効率的な給食設備の改善に努めます。また、自校調理方式校についても給食施設の整備及び設備の改善に努めます。		学校給食共同調理場、自校調理方式校ともに、計画的な改修や給食調理機器の買い替えを実施した。
C 給食・栄養指導の充実		
a 食の大切さや学校給食の役割、家庭での食事の重要性などを題材とした給食・栄養指導を積極的に推進します。		TT(ティーム・ティーチング)による給食・栄養指導や「給食だより」を通じて食の大切さや家庭での食事の重要性を啓発した。 また、平成22年4月から栄養教諭<1名>を配置し、食育の推進に努めた。
④ 学校保健の充実		
a 健康保持、増進や疾病の早期発見のため、児童・生徒の定期健康診断の内容の充実を努めます。		鼻鏡、歯鏡、舌圧子等の診断器具の滅菌が、委託により安定的に行えるようになり、健診内容の充実がはかれた。
b 児童・生徒の安全で快適な学習環境の確保のため、環境衛生検査の内容を充実するとともに、施設、設備の安全点検に努めます。		学校薬剤師会とプール施設状況調査を実施し、消毒剤の適正保管をはかった。
c 児童・生徒自らが健康な生活をおくれるよう、保健指導に努めます。		様々な機会を活用し、児童・生徒の保健指導に努めた。

⑤ 高校・大学などへの就学支援	
a 経済的理由により就学困難な生徒を対象に、奨学金制度の充実に努めます。	貸付限度額の増額をはかった。

第3 人を育む(生涯学習の充実)		実施状況
2 青少年とともにあゆむ(青少年の育成)		
(1) 青少年の健全育成		
① 青少年の健全育成体制の整備		
A 健全育成組織の充実		
a 青少年の健全育成に関わる団体の活動を支援し、学校、家庭、地域、関係機関の連携を深め、健全育成体制の充実に努めます。		青少年とともにあゆむ小学校地区委員会、青少年とともにあゆむ中学校地区連絡会及び青少年補導連絡会の活動を支援するとともに、代表者会議を通じ関係機関の連携強化に努めた。
B 情報収集と情報網の整備		
a 社会的課題の情報収集と提供を進めるとともに、広報活動の充実に努めます。		①東京都を經由して送付される各種パンフレットを健全育成団体等に配布した。 ②「あきしまの青少年」を定期的に発行した。
b 関係団体間のネットワークの整備に努めます。		関係団体の代表者会議の開催により、団体間のネットワークの整備に努めた。
C 相談活動の充実		
a 専門相談員やスクールカウンセラーを配置し、相談活動の充実に努めます。		教育相談室の活用や教育相談員の配置などにより、相談活動の充実に努めた。
D 青少年団体の育成		
a 子ども会、青少年グループなどの育成援助を進めます。		①子ども会や青少年の音楽団体への支援をはかった。 ②交流や情報交換を目的に子ども会の研修会を開催した。
② 健全育成活動の推進		
A 青少年リーダーの育成と活用		
a 子ども会リーダーを底辺とする段階的な指導者養成講座の充実に努めるとともにその活用を推進します。		①毎年度小学生リーダー講習会と中学生リーダー講習会を開催している。 ②リーダーズクラブの活動を支援し、リーダーの育成をはかった。
B 「生きる力」を育む		
a 青少年が体験学習をとおして、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心など、たくましく生きる力を育てます。		小学5・6年生を対象に、小学生国内交流事業を実施している。
b 青少年が自ら課題を見つけ、学び、考え、主体的に判断し、行動する事業を開催します。		青少年が主体的に行動する事業として青少年を主体とする実行委員会方式で、青少年フェスティバルを実施している。
c 幅広い視野と国際理解を養うための交流事業を開催します。		中学生海外派遣事業に取り組むとともに、派遣先の生徒を受け入れ、国際交流の実現をはかった。
C 社会参加型活動の推進		
a 青少年のボランティア活動の推進をはかります。		①リーダーズクラブの会員が小・中学生のリーダー講習会の指導に参加したり、青少年フェスティバルの実行委員として運営に携わったりしている。 ②成人自らが実行委員となり成人式の記念式典を計画・実施した。
D 社会体験・自然体験型事業の推進		
a 他の都市との青少年交流に努め、青少年の社会体験を豊かにします。		小学5・6年生を対象に、小学生国内交流事業を継続して実施している。
b 野外活動施設などの活用をはかり、青少年の自然体験の機会を増やします。		長野県にある富士見高原キャンプ場と、夏期に社会教育課が借り上げる北秋川山の家を利用して、小学生リーダー講習会並びに中学生リーダー講習会を実施し、自然体験のプログラムに取り組んでいる。

③ 健全な環境づくりの推進		
A	地域活動の援助・協力	
a	地区委員会活動の充実をはかり、関係機関との連携、協力のもとに地域の力を強化し、地域環境の浄化に努めます。	①青少年とともにあゆむ小学校地区委員会、青少年とともにあゆむ中学校地区連絡会及び青少年補導連絡会の活動を支援し、地区委員会活動の充実に努めた。 ②これらの団体により、危険箇所点検、安全パトロールなどが実施された。
B	非行防止活動の推進	
a	青少年の事故や非行を未然に防ぐため、相談・指導体制を充実するとともに、街頭指導などを推進します。	各中学校地区の青少年補導連絡会において、情報交換を中心に非行防止に努めている。
b	非行防止など市民への啓発とPRの強化に努めます。	青少年補導連絡会や保護司会が中心となり、青少年フェスティバルや社会を明るくする運動において啓発用品の配布を通じて非行防止の啓発に努めている。
C	青少年が暮らす社会環境の健全化	
a	青少年の環境実態調査の実施に努めるなど、健全な環境づくりを推進します。	青少年の環境実態調査は実施していないが、関係各団体の協力により青少年健全育成の環境づくりに努めた。
b	地域ぐるみの有害図書対策や薬物乱用防止啓発活動の推進をはかります。	東京都青少年健全育成協力員による市内書店の定期的な点検を実施している。 また、青少年フェスティバルの中で薬物乱用防止のパンフレットを配布し、啓発活動を実施した。

第3 人を育む(生涯学習の充実)		実施状況
3 心を豊かにする(市民文化・学習の推進)		
(1) 生涯学習		
① 生涯学習推進体制の整備		
A	生涯学習推進計画の策定	
a	生涯学習を計画的に推進するため、市民参加のワーキンググループを設置し、生涯学習推進計画を策定します。	生涯学習推進計画を策定した。
B	生涯学習推進組織のネットワーク化	
a	市民レベルの推進組織をつくり、それぞれの地域や学習課題に合わせて、ネットワーク化を図ります。	3小学校区に生涯学習校区協議会を設置した。
C	生涯学習推進計画の進行管理	
a	生涯学習推進計画を推進するため、3年間の短期計画(実施計画)を策定し、ローリング方式による進捗状況の把握を行い、計画の実現をはかります。	実施計画方式による進捗状況の把握は行っていない。
② 学習の場の拡大		
A	社会教育関係施設の建設・整備	
a	地域集会施設として武蔵野地区に市立会館の建設を進めます。	武蔵野会館を整備した。
b	旧市庁舎の跡地を活用して、多機能の社会教育施設(図書館、郷土博物館など)の整備に努めます。	昭島市社会教育複合施設建設計画基本方針策定庁内検討委員会を設置し、検討を進めている。
B	社会教育関係施設の機能整備とネットワーク化	
a	市民の学習要求の多様化にともない既存施設の多目的使用がはかれるように努めます。	大神会館について、多目的な使用がはかれるよう改修した。
b	施設の合理的、効果的な活用をはかるため、市立会館のあり方を検討します。	①武蔵野会館については、コミュニティ協議会による管理、運営を行っている。 ②朝日会館の保育室については、コミュニティ協議会の優先的な使用をはかっている。
c	OAIによるネットワーク化を推進します。	公共施設予約システムを導入の導入によりオンラインによる施設予約が可能となった。
C	学校施設の地域開放と利用拡大	
a	学校施設を開放し、生涯学習の場として活用をはかります。	①小学校3校において特別教室の開放を実施している。 ②小中学校の校庭・体育館の一般開放を実施している。

③ 学習機会の拡充		
A	対象別、課題別各種事業の実施	
a	対象別の学級講座や地域課題など、現代社会がかかえる社会的課題について各種講座などを開設し、市民団体やグループとの共催など多様な方法で進めます。	①自己実現や地域社会での活用に向け、パソコン教室を開設した。 ②地域住民の技能や技術を活かす場として土曜地域ふれあい事業(囲碁教室・陶芸教室)を実施した。
B	生涯学習のための人材の発掘と養成	
a	生涯学習の活動を支援したり協力したりする人材の発掘と養成をはかります。	社会教育関係団体への支援策として研修会を実施した。
C	大学などとの連携・協力の推進	
a	地域の大学、高校の社会的資源を積極的に活用するとともに、民間教育機関団体や市民団体などとも連携、協力しながら生涯学習機会の拡充をはかります。	公民館と地域の大学と共催で公開講座を実施した。
④ 公民館活動の充実		
A	主催事業の開設と充実	
a	市民の学習ニーズに対応した対象別、課題別の各種講座などの主催事業を開設し、学習の機会を提供するとともに、学習内容の充実をはかります。	毎年度の事業計画に基づき、市民講座、市民大学、地域公民館事業、シニア講座等対象別、課題別の各種講座を開催した。
B	市民の学習文化活動の支援・促進	
a	自主的で自発的な市民の学習活動を支援するとともに、市立会館を活用してグループや団体の学習文化活動の促進をはかります。	市民団体が企画運営する事業として、自主企画事業を実施するとともに、市立会館を利用した地域公民館事業を実施した。
C	学習活動の広域的連携	
a	社会の変化に対応した学習活動を展開するため、広域的な連携をはかりながら学習活動を推進します。	公民館と地域の大学と共催で公開講座を実施した。

第3 人を育む(生涯学習の充実)		
3 心を豊かにする(市民文化・学習の推進)		実施状況
(2) 図書館活動		
① 図書館活動の充実		
A	図書館サービスの充実	
a	だれもが等しく図書館を利用できるよう、高齢者や障害者へのサービス内容について充実をはかります。	視覚障害者サービスの充実のためにデージー図書の製作、貸出の取り組みを進めた。平成21年度作成購入開始、平成23年3月31日現在40タイトル(40枚)、貸出数209タイトル(209枚)
b	ブックトークの実施など学校における児童・生徒への図書サービスを拡充し、子どもと本の結びつきを推進します。	児童サービスの充実のため学校訪問を実施し、子どもと本の結びつきの推進に努めた。平成22年度は8回(中神小学校、共成小学校、拝島第四小学校)図書の紹介やブックトークを行った。
c	参考図書などを保存する収蔵場所の整備、除籍図書のリサイクル活用を進めます。	①収蔵場所として学校の余裕教室など利用した外部書庫の活用をはかった。平成23年3月31日現在、42,528冊を保管(拝島第四小学校、昭島スポーツセンター、清掃センター) ②リサイクル展などを活用し除籍図書のリサイクルに努めた。平成22年度3回(環境緑化フェスティバル、消費生活展・リサイクル展、青少年フェスティバル)5,410冊を市民に配布した。
d	市民に利用しやすい図書館をめざして、サービスの充実をはかります。	平成21年度からあきる野市及び福生市と、平成23年度から武蔵村山市と相互利用を開始した。
B	図書館資料の充実	
a	市民生活の場で生ずる多様な情報要求にこたえる資料の提供や地域に密着した資料の充実をはかります。	資料の購入に当たり、基本的な資料を確保しつつ、資料の鮮度に注意し、幅広い資料の収集に努めた。平成22年度の図書購入冊数20,139冊 購入は、見計らいによる購入のほか、リクエストに基づく購入、出版社からの持ち込み、取次店からの一括購入、図書目録からの購入を行っています。別途、地域資料として、図書138冊購入した。

	b 高度情報化の進展のなかでOAによるネットワーク化を利用して、資料収集や情報提供の拡充をはかります。	①市民利用のOPAC(オンライン蔵書目録)を本館・分館・やまのかみ分室に設置した。平成17年5月、本館、昭和分館、緑分館に設置。翌年、やまのかみ分室に設置。 ②図書の検索と予約が可能となるなど、ホームページの充実をはかった。
C	サービス網の整備	
	a 多様化する市民ニーズにこたえるため、拠点的機能を有した中央図書館の整備に努めます。	昭島市社会教育複合施設建設計画基本方針策定庁内検討委員会を設置し、検討を進めた。
	b 図書館活動の全体的な推移を勘案するなかで、地区館の整備についても検討を進めます。	中央図書館については、図書館の全体的な計画を踏まえ、検討を進めている。昭島市社会教育複合施設建設計画基本方針策定庁内検討委員会を設置し、検討を進めた。

第3 人を育む(生涯学習の充実)		実施状況
3 心を豊かにする(市民文化・学習の推進)		
(3) 芸術・文化		
① 芸術・文化活動の推進		
A	文化事業の充実	
	a 質の高い文化・芸術に触れる機会を増やすとともに、市民の芸術文化を創造する機会の充実をはかります。	①市民会館自主事業として、毎年10本程度の事業を開催している。 ②毎年市民文化祭などを開催し、文化芸術を創造するきっかけづくりとしている。
	b 市民会館文化事業協会の法人化について、引き続き検討します。	市民会館文化事業協会に固有職員を配置した。
	c 近隣市の文化施設などと連携し、広域的な情報の提供に努めるとともに、情報機器をとおして各種文化情報の提供に努めます。	①近隣市の市民会館の情報紙の配布など、他市の文化関係情報の提供を行っている。 ②市のホームページを利用した主催事業の広報を行っている。
B	市民の自主的文化活動の促進	
	a 市民の自主的文化活動の促進をはかるため、地域の世代間交流や多文化・多民族交流などを進めます。	①市民文化祭やシニアグループ合同発表会などで世代間の交流がはかられている。 ②国際化や多文化交流などは、公民館の市民講座の中で取り上げている。
	b 幅広い市民の参画により市民文化祭を開催するなど、市民の文化交流事業の促進に努めます。	毎年度市民文化祭を開催している。
	c 各種団体が文化芸術活動の成果を発表できる、機会と場の提供に努めます。	①市民文化祭の開催 ②公民館内のギャラリーの提供 ③拝島駅自由通路展示ケース利用の紹介 ④公民館小ホールの特例的利用の実施
C	文化団体への支援、情報の提供	
	a 文化団体への支援を行うとともに、各種団体の広範なネットワークづくりのためにさまざまな情報収集と積極的な発信に努めます。	①公民館利用団体懇談会などでの情報の提供 ②自主市民講座の参加団体募集 ③ロビーでのチラシやパンフレットの配布 ④市民文化祭の実施
D	人材活用の推進	
	a 各種文化講座などの開設にあたっては、文化団体やサークルなどからの人材活用の推進をはかりま	公民館の各種講座などにおいて団体やサークルの方に講師を依頼している。

第3 人を育む(生涯学習の充実)		実施状況
3 心を豊かにする(市民文化・学習の推進)		
(4) スポーツ・レクリエーション		
① 生涯スポーツ活動の推進		
A	参加機会の拡大	
	a すべての市民が年齢や体力に応じて、気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション教室の充実をはかります。	スポーツに親しむきっかけづくりとして多種目の教室を開催した。
B	スポーツ活動の推進・奨励	
	a 市民がスポーツに親しめるよう、だれもが気軽に参加できる各種スポーツ大会の開催及びニュースポーツの奨励に努めます。	①市民体育大会や新春駅伝競走大会を実施した。 ②「体育の日」にレクリエーションフェスティバルを毎年開催している。 ③ニュースポーツを体験する機会を提供するため、ニュースポーツ教室を開催した。

C	指導者の養成・確保・活用	
a	市民の自主的なスポーツ・レクリエーションの推進をはかるため、各種団体との連携のもと、指導者の養成や確保に努めるとともに、資質の向上とその活用をはかります。	①体育指導委員会を中心として、地域スポーツの推進をはかった。 ②指導者講習会や救急法講習会を開催し、資質の向上をはかった。 ③地域スポーツ推進のため、「総合型地域スポーツクラブ」の立ち上げを支援した。
D	スポーツ・レクリエーション団体の育成	
a	地域におけるスポーツ・レクリエーション団体の活動がより効果的に推進されるよう、情報の提供や育成に努めます。	各種団体に補助金を交付する等、自主的な活動の支援に努めた。
② スポーツ・レクリエーション施設の整備		
A	運動施設などの整備と充実	
a	市民の健康づくりや多様なスポーツ・レクリエーションに対応するため、総合体育館の整備に努めます。	多摩スポーツ会館の移管にともない、昭島市総合スポーツセンターとして、リニューアルオープンした。
b	自然に親しみながら、市民相互がふれあいを深められる場として、富士見高原青少年山の家を活用をはかります。	富士見高原キャンプ場と、夏期に借り上げる北秋川山の家を利用して、小学生リーダー講習会並びに中学生リーダー講習会を実施し、自然体験のプログラムに取り組んでいる。
B	学校施設の開放	
a	市民の身近な施設として、小中学校の校庭や体育館の開放及び校庭夜間照明設備の整備、拡充に努めます。	①小中学校の校庭・体育館の一般開放を実施している。 ②市内東部、西部及び青梅線北側にそれぞれ1校ずつ校庭夜間照明設備を設置している。 ③市営プールから遠距離になる児童のため、地元PTA協力の下、5小学校のプール開放を実施している。
b	学校施設の管理、運営体制を確立し、地域スポーツ・レクリエーションの場としての活用をはかります。	小中学校の校庭・体育館の一般開放を実施している。
C	民間施設などの活用	
a	市民のスポーツ・レクリエーションへの要望に対応するため、民間施設の活用をはかります。	市民体育大会種目別大会の一部競技において、民間施設を利用している。
b	国営昭和記念公園や都立多摩スポーツ会館の有効利用をはかります。	①国営昭和記念公園などを利用した立川・昭島マラソンを立川市と昭島市両市で開催した。 ②多摩スポーツ会館は移管され、昭島市総合スポーツセンターとして、リニューアルオープンした。

第3 人を育む(生涯学習の充実)		実施状況
3 心を豊かにする(市民文化・学習の推進)		
(5) 文化財		
① 文化財の保存		
A	文化財の調査	
a	新たな地域文化創造の基礎となる貴重な文化遺産を後世に引き継ぐため、有形無形の文化財の調査に努めます。	これまで国登録有形文化財であった「旧三井家拝島別邸(啓明学園北泉寮)」が、都指定有形文化財となった。
B	文化財の収集、保存	
a	文化財は、市の歴史や文化を正しく理解し、新たな地域社会を創造するための貴重な財産です。埋蔵文化財や民具、古文書などの収集をはかり、整理、記録、保存に努めるとともに、すでに発刊されている文化財資料を再検討し、改訂版などの発刊に努めます。	①文化財の発掘、発見、市民からの提供があった時点で収集、整理、記録、保存に努めている。 ②「昭島市の社寺と石造遺物」「路傍の文化財」及び「昭島の史跡めぐり」の改訂版を発行した。
C	保存体制の整備	
a	収集、保存した文化財を後世に継承するため、適切な管理を行うとともに、収蔵庫の確保に努めます。	郷土資料室を中心として収蔵し、整理を行っている。
② 文化財の活用		
A	展示、公開の場の整備	
a	地域の歴史と伝統のなかから生み出され、守り、育まれてきた文化財を学校教育や社会教育、レクリエーションの場などにおいて活用するとともに、アキシマクジラなど市の歴史と伝統を広く紹介するため、郷土博物館の建設に努めます。	郷土資料室の設置により文化財を一般市民や小中学生に公開している。

	b 文化遺産をつなぐ「歴史の散歩道」の整備に努めます。	歴史の散歩道スタンプラリー説明板を設置した。
B	文化財保護思想の普及、啓発	
	a 市民の文化財に対する関心と認識を深め、文化財保護思想の普及、啓発をはかるため、文化財に対するパンフレットの発行や講座の開催、文化財めぐりを実施し、市民ぐるみの文化財保護活動の推進をはかります。	①「昭島市の社寺と石造遺物」、「路傍の文化財」及び「史跡めぐり」の改訂版を発行した。 ②文化財めぐりを実施した。
	b 文化遺産や郷土芸能などに関し、自主的な活動を行っている市民団体などとの連携にも努めます。	市指定文化財保存育成事業を実施した。

第4 環境を守る(循環型社会の形成)		実施状況
1 まちの環境を保つ(環境の保全)		
(1) 環境共生		
①	環境基本計画の策定と推進	
	a 公害の未然防止、自然環境の保全、快適環境の創造に向け、市民、事業者、行政が協力しあい、関係機関と連携をはかりながら広域的な対応を進める必要があるため、地域の特性に応じた望ましい環境を掲げた「環境基本計画」を策定し、その推進に努めます。	①「美しい水とみどりを将来の世代に」を望ましい環境像として、環境基本計画を策定した。 ②進捗状況は「昭島市の環境」で毎年公表した。 ③環境基本計画の見直しを行い、地球温暖化対策地域推進計画を盛り込む。
②	環境保全の推進	
	A 環境監視・指導體制の充実	
	a 環境の現状を的確に把握するとともに、これに対応した適切な措置を講じるため、大気測定調査、河川などの水質調査、交通量・交通騒音調査などを実施し環境監視に努めます。	交通騒音測定、河川関係水質分析、湧水分析、大気質調査等の定期的実施した。
	b 環境汚染源と思われる工場などには、立ち入り調査を実施するなどの監視体制の強化及び適切な指導を行います。	化学物質使用量の報告、土壌・地下水汚染対策、公共用水域事故調査等を実施した。
	B 環境影響評価の実施	
	a 環境に大きな影響を与えることが予想される事業の実施にあたっては、環境に及ぼす影響を事前に評価するための適切な施策の実施に努めます。	立川基地跡地昭島地区区画整理事業の評価書(案)及び、評価書案に係る見解書の縦覧を行った。
	C 環境保全への助成	
	a 環境保全設備の整備促進をはかるため、国や東京都における助成制度の充実を要請します。	航空機騒音に係る環境基準の一部改正にともなう測定経費の財政的支援を東京都市長会を通じて東京都に要請した。
	D 航空機騒音対策	
	a 航空機騒音の軽減、民生安定対策の充実に向けて、基地周辺自治体と緊密な連携をはかり関係機関に要請を行います。	横田基地周辺市町や東京都と連携し、国及び在日米軍等に対し毎年要請活動を実施している。
	b 航空機騒音の測定、監視、調査体制の確保に努めます。	固定・移動の2局による終日監視体制を実施した。
	c 艦載機をはじめとするすべての飛行訓練の中止、早朝・夜間の飛行制限など航空機騒音の軽減を求めます。	横田基地周辺市町や東京都と連携し、国及び在日米軍等に対し毎年要請活動を実施するなか、市については、すべての飛行訓練の中止、都及び5市1町については、艦載機の飛行訓練の全面中止を要請している。
	d 住宅防音工事の対象区域の拡大をはじめ、補助対象施設、補助額の拡大など制度の拡充を求めるとともに、学校、その他公共施設の防音・整備を行い、市民生活の福祉の向上に努めます。	住宅防音工事の対象区域の拡大をはじめ、補助対象施設、補助額の拡大など制度の拡充を求め、国に対し毎年要請活動を実施している。
③	環境保全意識の高揚	
	A 地球環境保全意識の啓発	
	a 身近な地域のなかで地球的な環境問題を考えるなど、地球にやさしい活動を地域から推進するため、「昭島市の環境」を発行します。また同時に、イベントなどの開催をとおして意識啓発に努めます。	①「昭島市の環境」を年1回発行した。 ②環境緑花フェスティバルや環境パネル展を開催し啓発活動を行った。
	b 環境管理システムISO14001の認証取得に努めるとともに、民間事業者の取得の普及にも努めます。	①ISO14001の認証を取得した。 ②ISO取得事業者を中心とした環境配慮事業者ネットワークを設立した。 ③中小規模事業者向けの環境管理システム、エコアクション21の導入支援を行った。

c	環境会計の導入について検討します。	水道会計における試行、検討を踏まえ、一般会計への導入には至っていない。なお、ISO 14001の認証取得により一定程度の目的は達成されている。
B 省資源・省エネルギーの推進		
a	市庁用車への低公害車の導入を順次進めます。	ごみ収集車をはじめ、庁用車のCNG車への切替を進めている。また、電気自動車も導入した。
b	省資源・省エネルギー社会、リサイクル推進都市の形成をめざして、「ノー・マイカー・デー」、「アイドリング・ストップ」の徹底や資源分別収集システムの確立などを推進し、環境に負荷を与えないまちづくりに努めます。	①市役所本庁舎にて月2回程度「エコ通勤デー」を実施した。 ②エコドライブの啓発活動を実施した。 ③環境コミュニケーションセンターの整備により、リサイクルの推進をはかった。
c	太陽エネルギーなどのクリーンエネルギーの導入や活用を進めます。	あいぽく及び環境コミュニケーションセンターへの太陽光発電の設置に加え、市民向けの新エネルギー機器等普及促進補助金を創設した。
d	雨水の循環利用を進めるため、雨水浸透施設や雨水貯留槽などの設置助成に努めます。あわせて公共施設はもとより民間大規模施設についても雨水の循環利用がさらに促進されるよう努めます。	①雨水浸透施設や雨水貯留槽の設置助成を行った。 ②市役所本庁舎において、地下水の中水(トイレなど)への有効利用を開始した。 ③児童センター(ぱれっと)や昭和公園野球場などの大規模施設については雨水利用施設を設置し、それ以外の新築施設については雨水浸透施設を設置した。
C 環境学習の推進		
a	自らの生活とさまざまな環境問題との関わりについて、子どもの頃から理解と認識を深める環境学習を進めるとともに、地域を知り、地域への関心を高める機会をつくるよう努めます。	①キッズISOの小学校への導入、水辺の楽校の開校、奥多摩・昭島市民の森で森林教室などを実施した。 ②子ども向けの環境学習講座を実施した。
b	市民の自発的な環境保全活動に対し、情報提供などの支援を行います。	①環境緑花フェスティバルでの団体ブース提供や活動案内の庁内掲示を行った。 ②水辺の楽校への支援を行った。 ③ホテル保護団体との連携に努めた。
④ 自然環境の保全(「自然保護」の施策による。)		

第4 環境を守る(循環型社会の形成)		実施状況
1 まちの環境を保つ(環境の保全)		
(2) ごみ処理		
①ごみ処理体制の充実		
A 収集・運搬体制の整備		
a	ごみ集積所は市民が協力して衛生管理ができるよう、衛生、環境、美観、安全性に配慮し、一層の整備を進めます。	①戸別収集の実施により、集積所は大幅に減っている。 ②集積所によるごみ収集は、集合住宅などで実施しているが、管理者の維持管理責任に基づき適正に管理されている。
b	ごみ集積所については、ステーション方式から戸別収集方式への変更について検討します。また、資源ごみの容器収集方式についても検討を進めます。	①集合住宅などを除き、戸別収集を実施した。 ②資源の収集方式については、袋等による収集方式を継続した。
c	ごみの分別形態に見合った収集運搬頻度の検討を進めます。	分別形態に見合った7分別収集を行っている。
d	ごみ収集車には環境に配慮した低公害車の導入を進めます。	直営車両、委託車両とも、全車低公害車の導入済みとなっている。
B 中間処理体制の整備		
a	分別収集した資源ごみを適正に処理し、資源化を推進するため、ストックヤードの確保やリサイクル施設の整備、建設を進めます。	環境コミュニケーションセンターを新たに整備した。
b	焼却炉の稼働にあたっては、排ガス対策など周辺環境に配慮し、適正な管理に努めます。	①焼却炉については、各機器の保守点検、定期整備等を継続的に実施し適正な運転管理に努めている。 ②施設の延命化に向け、計画的な補修に努めている。 ③環境配慮に関する「環境報告書」を作成し、公表している。

C 最終処分体制の整備		
a	ごみの減量化を進め、最終処分場に搬入される埋立量の減容化に努めます。	①ごみ減量化は、年々実績を出し、着実に進んでいる。 ②二ツ塚処分場への不燃残さ搬入量の減容がはかられている。
b	東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合と協力し、焼却灰のエコセメント化事業に取り組み、最終処分場の長期的確保に努めます。	焼却灰のエコセメント化事業は、東京たま広域資源循環組合により本格稼働している。
② ごみ減量化とリサイクルの推進		
A ごみ減量化の推進		
a	ごみの減量化を一層進めるため、リサイクル展などのイベント開催や広報、啓発活動を積極的に進め、市民・事業者の関心を高めます。また、廃棄物減量等推進員制度の活用により、ごみ減量施策の一層の推進をはかります。	①リサイクル展の開催を継続して行っている。 ②廃棄物減量等推進員会議を実施している。 ③ごみの有料化(指定収集袋制)開始にともない、廃棄物減量等推進員による分別指導等の地域活動を実施した。
b	コンポスト容器や電動式生ごみ処理機の補助制度を拡充し、生ごみの減量化、堆肥化を進めます。また、集合住宅における生ごみ処理機の設置についても検討します。	①コンポスト容器や電動式生ごみ処理機の補助制度を拡充した。 ②集合住宅への大型生ゴミ処理機の試行設置を実施したが、運営には地域の負担が過大であることなどから、本格実施は見送った。
c	事業者に対して、包装の簡素化、店頭回収の推進、再生品の販売などの協力を求めています。	①大型店舗、商工会、商店会に簡易包装等の協力を依頼している。 ②大型店舗、商工会、商店会の協力を得て各店舗のレジ付近に小型のぼり旗「へらそうレジ袋 お買い物にはマイバッグを」を設置し、レジ袋の削減・マイバッグの利用を推進した。
d	ごみの排出量や資源化のための目標値を設定するとともに、ごみ減量化の方策として、ごみ処理経費の排出者負担のあり方について検討を進めます。	①一般廃棄物処理基本計画の見直しを行う中、目標値を設定した。 ②指定収集袋制による家庭ごみの有料化を開始した。
B 資源化の推進		
a	古紙・プラスチックの分別収集に加えて、布類の分別などによる一層の資源化を進めます。	①布類の分別収集は実施していない。 ②フリーマーケットを開催し、洋服等のリサイクルを促進した。 ③古繊維を資源回収奨励品目とし、リサイクルを促進した。
b	資源回収奨励金交付制度を拡充し、地域におけるリサイクル活動を推進します。	ホームページのリニューアル、広報記事の掲載などを通して市民への周知をはかった。
c	プラスチック類の固形燃料化などにより、資源化の一層の推進をはかります。	廃プラスチックの固形燃料化及びサーマルリサイクル並びに硬質プラスチックのマテリアルリサイクルなどの資源化をはかった。
d	市民によるフリーマーケットや不用品交換会の開催など、公共施設の提供やリサイクル活動への支援を行います。	①本市主催のイベント等でフリーマーケットを開催した。 ②市役所駐車場等でフリーマーケット協会によるフリーマーケットの独自開催を支援した。

第4 環境を守る(循環型社会の形成)		実施状況
2 水と緑を守る(緑の保護育成)		
(1) 公園・緑化		
① みどりの基本計画の推進		
a	緑あふれる個性豊かなまちづくりを推進するため、緑を守り育むための施策を展開するとともに、本市の自然環境の特性をいかして、水と緑のネットワーク化を進め、自然と人間が共生する緑豊かなまちづくりを進めます。	①立川崖線の公有化を推進した。 ②野水堀景観まちづくり事業に取り組んだ。 ③シンボルとなる街路樹づくり(庁舎周辺の歩道にカリン植栽)に努めた。 ④玉川上水周辺のみどりの保全に取り組んだ。

② 公園の整備と管理		
A 都市公園、児童遊園の整備		
a	都市計画決定されている都市公園や児童遊園の整備をはかるとともに、市民の休息、散歩、運動など総合的に利用されている公園については、地域の自然環境をいかしつつ個性的で魅力ある整備を進めます。なお、昭和公園については、さらにゆとりとやすらぎのある公園として整備を進めます。	①児童遊園については11箇所設置し、全体で49箇所となった。 ②稲荷公園及び緑ヶ丘公園の共用を開始した。 ③昭和公園基本構想及び基本計画に基づき第1期整備工事を実施した。
b	公園などの整備にあたっては、高齢者や障害者など市民のだれもが、安心して利用できるように配慮するとともに、災害時の避難場所としての機能を発揮できるよう、地域の実状をふまえた計画的な整備に努めます。	①11箇所の公園に誰でもトイレを設置した。 ②公園便所新築にあたっては、災害時に仮設トイレの設置可能な排水枡も設置している。
B 市民参加による公園づくり		
a	市民が身近な公園・道路などの緑を自主的に維持管理するなど、地域住民との連携による市民参加の公園づくりをめざし、その活動を支援していきます。	アダプト制度を開始し、現在11団体で121名の方が参加し、公園などの美化・清掃活動を行っている。
C 広場や公園の確保と整備		
a	土地所有者の協力を得て、市街地のオープンスペースなどの有効活用を推進し、一時開放子ども広場や高齢者の憩いの場として整備を進めます。	一時開放子ども広場は、現在は6箇所で開設している。
b	都営住宅などの建て替えや新たな民間の開発行為などにあたっては、公園や広場の確保に努めます。	都営住宅などの建て替えや新たな民間の開発行為などにあたっては、できる限り公園などの確保がはかられるように、関係者と調整に努めている。
c	緑豊かな美しい街並みを築くとともに、身近な市民の広場、憩いの場として親水公園やポケットパークの整備を進めます。	①街路樹や植樹帯などによる緑化に努めた。 ②ポケットパークについては、道路整備にあわせ整備に努めた。 ③親水公園の整備には至っていない。
D 昭和記念公園・都立公園の整備促進		
a	国営昭和記念公園については、早期全面開園に向けて関係機関に要請します。	早期全面開園に向けて関係機関に要請した。
b	立川基地跡地に予定されている都立公園(総合公園)については、防災性にも配慮した公園としての早期整備を東京都に要請します。	総合公園と一体不可分であった下水処理場は整備しないこととなったため、国へ提出した土地利用計画では、調節池の平常時利用や昭和記念公園との連担に配慮した一定規模の環境保全用地の配置を位置付けている。
③ 緑地などの整備		
A 多摩川河川敷の有効活用		
a	多摩川の水辺の自然環境を保全するとともに、緑に恵まれた自然とふれあう場として、また、市民のスポーツ・レクリエーションの場として活用をはかります。	多摩川水系河川整備計画の機能空間区分に配慮し、自然レクリエーション空間として市民の方が利用できるよう、公園などの維持管理に努めている。
B 水系緑地の整備		
a	恵まれた清流や湧き水を保全し、うるおいのある快適な水辺環境の整備をはかります。	①「水辺の散歩道」や「水辺の楽校」を整備し、運営に協力した。 ②環境マップやホテルマップを発行した。 ③湧き水に関しては、湧水量を定期的に調査した。
C 緑地の保全		
a	既存の都市計画緑地をはじめ、多摩川沿いの崖線に連続する樹林地の保全に努め、市民の協力を得ながらその維持をはかります。	立川崖線の公有化を推進し、委託等によりその管理に努めた。
b	市民が楽しく緑の保全や緑化活動に参加できる環境づくりを進め、緑の普及をはかります。	①奥多摩・昭島市民の森を開設し、森林教室を開催した。 ②環境緑花フェスティバルを開催した。 ③花の応援事業(緑のボランティア)を実施した。

④ 緑化の推進		
A 公共施設の緑化推進		
a	学校を中心とする公共施設は緑化推進のモデルとして位置づけ、市街地における緑のシンボルとして緑化に努めます。また、駅前広場についても、人々がふれあい憩う緑の空間として整備を進めます。	①学校では校庭の芝生化がスタートしたほか、「緑の募金」を活用し樹名板を設置した。 ②花の応援事業を年2回毎年実施し、学校などの公共施設、駅前広場等に花プランターを設置した。 ③一部の公共施設では、緑のカーテン普及事業も実施した。 ④昭和公園駐車場については、壁面緑化を実施した。 ⑤施設の新築時には緑化基準に沿って整備を実施している。
B 民間施設の緑化促進		
a	緑と調和した良好な街並みが形成されるよう生け垣やベランダの緑化など、道路に面した敷地際の緑化を促進するとともに、屋上の緑化などを働きかけます。	①環境緑化フェスティバル等で年2回、400本程度の苗木を配付した。 ②生垣造成助成制度を実施してした。
C 緑化運動の推進		
a	緑化推進のために市民と行政が連携をはかり、緑化推進協力員やボランティアの活力をいかす組織づくりを進め、花いっぱい運動の推進をはかります。	①緑化推進協力員の活動の活性化や緑のボランティア活動の推進に努めた。 ②公募ボランティアで市内に花を植える花の応援事業を実施した。
b	ふれあい花壇整備事業、街並みコンクールなどを実施し、市民参加による緑化を推進します。	「花壇コンクール」の発展的見直しをはかり、平成19年度より「街角ふれあい花壇」事業を同年実施している。開かれた花壇を写真パネル展などで紹介し市民の花づくりを推進した。
⑤ まちの美化		
a	まちの清掃や美化運動など、美しいまちづくりに対する市民の主体的な活動を促進するとともに、まちの浄化を行政、市民、事業所などが一体となって考えることのできる環境づくりに努めます。	①街並みクリーンアクション実行委員会を設立し、「市内クリーン運動」やミニ・クリーン運動を実施した。 ②アダプト制度により、市民の主体的な公園などの美化、清掃を進めた。
b	啓発活動を通じて、ごみの不法投棄やポイ捨てのないまちをめざすとともに、正しいペットの飼い方やハエ、蚊などの害虫が発生しにくい衛生的で安全なまちづくりをめざします。	①街並みクリーンアクション実行委員会を設立し、「市内クリーン運動」やミニ・クリーン運動を実施した。 ②様々な機会を活用し、啓発活動に努めた。
c	清潔で美しいまちをめざすため、空地などの適切な管理について土地所有者などに協力を求めるとともに、道路、公園、水路など公共施設については計画的に清掃を行います。	①空き地所有者の責務も規定した「昭島市まちをきれいにする条例」を施行し、適切な管理の推進に取り組んだ。 ②アダプト制度による市民の主体的な美化、清掃活動の推進に努めた。 ③公共施設の計画的な清掃に努めた。

第4 環境を守る(循環型社会の形成)		
2 水と緑を守る(緑の保護育成)		実施状況
(2) 自然保護		
① 今ある自然の保護		
A 自然保護意識の普及、啓発		
a	豊かな自然を保護するため、自然保護意識の普及、啓発に努めます。	①「水辺の楽校」事業や「奥多摩・昭島市民の森」事業を推進している。 ②環境マップやホテルマップを発行した。
B 水と緑の保全		
a	多摩川河川敷や玉川上水の緑の保全、活用をはかるとともに、湧水地を保全し、野鳥や水生生物が生きることができるよう努めます。また、水に親しめる用水路の改善に努め、うるおいのある快適な水辺環境づくりを進めます。	①「水辺の散歩道」を整備した。 ②「水辺の楽校」を開校した。 ③環境マップ「用水路版」を発行した。
b	河川改修にあたっては、護岸など自然形態の保持に努めます。	河川改修工事の施工実績はなかった。

c	樹林、樹木、生け垣などの緑を保全するため、市民と一体となって自然の保護に努めます。	①保存樹木・保存樹林に対する助成を行っている。 ②生垣造成助成制度を実施している。 ②アダプト制度により上水公園の樹林の管理を実施している。
d	保存樹林、保存樹木の指定を推進します。また、東京都に対し緑地保全地域の指定拡大及び公有化をはかるよう要請するとともに、貴重な樹林地については、緑化推進基金の活用などにより公有化に努めます。	①保存樹木・保存樹林に対する助成を行っている。 ②東京都に対し、緑地保全地域の指定拡大及び公有化をはかるように要請した。 ③樹林地の公有化に努めた。
e	地下水を大切にするため、森林の保全活動について検討します。	奥多摩・昭島市民の森を開設し、森林教室を開催した。
② 水と緑のネットワークづくり		
a	多摩川や玉川上水、残堀川は水の流れを軸に豊かな緑が形成されていることから、水と緑のネットワーク形成を先導する主軸と位置づけ、自然とふれあいながら散策できる自然空間として、その整備と保全に努めます。	①本市の事業では水辺の散歩道の整備や、野水堀の景観まちづくり事業を実施した。 ②東京都は玉川上水沿いに、国は多摩川沿いに、散策路整備を継続して実施した。 ③多摩川や残堀川は、関連自治体とも連携し清掃活動を実施した。

第5 うるおいのあるまちを築く(質の高い都市基盤整備)		実施状況
1 まちの礎を築く(都市基盤の整備)		
(1) 道路		
① 幹線道路の整備		
A 国道の整備促進		
a	広域的な幹線道路である国道16号小荷田・松原町地区の早期拡幅整備を要請します。	毎年、国に対して拡幅整備の促進等を要請している。
b	整備にあたっては歩行者の安全確保のため歩車道分離などの安全対策や、通過車輛の騒音軽減対策としての環境施設帯の設置などについても要請します。	
B 都道の整備促進		
a	整備中である八王子村山線(昭3・4・9号)及び昭島停車場熊川線(都道220号線)の早期完成を要請します。	①八王子村山線(昭3・4・9号)は整備が完了した。 ②昭島停車場熊川線(都道220号線)は、一部を除き整備が完了している。
b	多摩大橋の拡幅整備事業の促進を要請します。また、拝島橋・多摩大橋間への新橋の架橋について要請します。	多摩大橋の整備は、完了した。
c	中神駅南口線(昭3・4・14号)による中神駅南口駅前広場整備及び中神停車場線(都道152号線)の拡幅整備を要請します。	毎年、東京都に対して整備促進を要請している。
C 立川基地跡地昭島地区関連道路の整備		
a	立川基地跡地昭島地区市街地整備事業において整備される国営公園南線(昭3・2・3号)及び国営公園西線(昭3・2・11号)の早期事業化について、東京都などの関係期間と協議を進めます。	①毎年、東京都に対して早期の事業化を要請している。 ②関係6者で締結した「土地区画整理事業の施行に関する基本協定」により、区画整理事業区域内については独立行政法人都市再生機構が平成28年度までに、周辺区域については東京都が土地区画整理事業の進捗に合わせて、整備をすることとなった。
D 市道の整備推進		
a	市域の骨格をなす幹線道路や補助的な幹線道路の体系的整備を基本に、安全で快適な生活関連道路網の整備充実に努め、うるおいとゆとりのある道路空間の確保をはかります。	①ボトルネックの解消として、市道南384号の大豆橋の拡幅及び市道北134号松原踏切の拡幅を行った。 ②市道西728号整備事業を実施した。 ③野水堀の景観まちづくり事業を実施した。
b	一部で供用開始をしている昭島中央線(昭3・4・1号)の事業推進をはかります。あわせて、南北幹線道路としての拝島橋昭島線(昭3・4・18号)事業の早期完成をめざします。	①拝島橋昭島線(昭3・4・18号)は、一部を除き完了した。 ②昭島中央線(昭3・4・1号)は用地の取得に努め、第1期の用地取得率は99%、第2期も77%に達している。

	c 江戸街道(昭3・4・2号)拜島駅南口地区事業については、国道16号拡幅整備事業の進捗状況などを勘察しつつ早期事業化に努めます。	都市計画道路3・4・2号の用地買収は、96%に達している。
	d 一般市道の新設改良については、着手済み市道の早期完成はもとより、未着手道路についても事業化に努めます。	概ね、現在までに計画されていた道路整備は終了している。
	E 歩車道分離の整備推進	
	幹線道路などについては、歩行者や車いす、自転車などの安全性を確保するため歩車道の分離を進めます。	市道昭島8号の整備工事にともない歩道を設置し、歩車道の分離をはかった。
	② 生活道路の整備	
	A 道路施設の改良	
	a 狭隘道路の拡幅や交通支障箇所の解消に努めます。	部分的な交通障害などの解消に努めた。
	b ローマ字併記による道路案内表示をさらに進め、利便性と快適性の向上に努めます。	市制50周年記念に道路の愛称を10路線募集した。
	c 子どもをはじめ、高齢者や障害者が安心して通行ができるよう各種の安全施設の整備を進めます。	市道の改修工事を実施するなか、各種安全施設の整備を進めた。
	d 透水性舗装や浸透柵などの設置を引き続き進め、雨水の地下還元をはかります。	私道、歩行者通路及び狭あい道路並びに駐車場などの透水性舗装の施工、浸透柵の設置及び雨水貯留浸透槽の設置に努め、雨水の地下還元をはかった。
	B 私道の整備	
	a 私道は、「私道整備に関する規則」に基づき、路面の舗装整備を行うとともに、一定の要件をみたす道路については土地所有者の協力を得て公道化を進めます。	規則に基づき、継続して私道の整備に努めている。
	C 歩道の整備	
	b 環境にやさしい乗り物としての自転車の適切な利用促進をはかるため、歩行者の安全確保に配慮しつつ、自転車も通行できる歩道への改良を進めます。	現状の歩道環境の中、自転車の安全な通行への普及、啓発に努めた。
	③ やさしさ、快適性の推進	
	A サイクリング・ロード、遊歩道の整備	
	a 多摩川堤防上などに遊歩道を兼ねたサイクリング・ロードの整備に引き続き努めます。さらに、市街地においても昭島の誇れる水と緑を体感しながら散策ができる遊歩道の整備を進めます。	①「水辺の散歩道」を整備した。 ②サイクリング・ロードの整備には至らなかった。
	B 歩行空間のバリアフリー化の推進	
	a だれもが安全・快適で円滑に移動できるよう、歩道の段差解消や勾配の緩和などバリアフリー化を進めます。また、歩行に支障となる電柱の移設や架空線の地中化などについて関係機関と協議し、人間優先の道路空間整備を進めます。	①歩道の段差解消、勾配の緩和や視覚障害者用ブロック設置等のなど、バリアフリー化工事を計画的に実施している。 ②市道昭島2号,6号,11号,20号,24号,37号については、歩道の拡幅、段差改良を行なった。 ③市道昭島23号及び30号については、都道220号と併せ、交差点部分の拡幅整備を行った。 ④人にやさしいまちづくり整備工事として、視覚障害者用ブロックの計画的な設置をはかった。
	C ポケットパークの整備	
	a 歩行中の休息場所として、また市民と市民とのふれあいを高める場として、うるおいのあるポケットパークの整備を推進します。また広い歩道にはベンチを設置するなど、散歩したくなるような魅力ある道路空間の形成に努めます。	市内に20箇所のポケットパークの整備を行ってきた。
	D コミュニティサインの整備	
	a だれもが安心してスムーズにまちのなかを移動できるよう、景観やデザインの統一性にも配慮しつつ、道路や公共・公益施設の案内板の整備を行い、快適なまちづくりを推進します。	市道愛称名盤、施設案内板及び地名表示の設置をはかった。
	E モニュメントの整備	
	a 市民が地域社会に愛着をもち、「ふるさと」を実感できるモニュメントなどの設置を進めます。	ポケットパーク等を整備する際、モニュメントの設置を進めている。
	F 緑化の推進	
	a うるおいやすらぎのある街並みを創出するため、地域性や連続性に考慮しながら、街路樹や植樹帯などによる緑化を進めます。	①シンボルとなる街路樹づくり(庁舎周辺の歩道にカリン植栽)に努めた。 ②道路整備にあたっては、街路樹や植樹帯などによる緑化に努めた。

④ 道路管理の充実		
A 道路台帳などの整備		
a	引き続き道路台帳の整備を進め、道路管理事務の円滑化に努めます。	毎年度道路台帳は、更新している。
b	道路施設や上下水道施設などが一体的に把握できる地図情報システムの整備を進めます。	地図情報システムを整備した。
B 維持管理の充実		
a	幹線道路については、計画的な維持管理に努めます。	関係部署と調整し、計画的な維持管理に努めている。
b	道路パトロールを強化し、破損個所の早期発見と早期改修をはかり、道路の適切な維持管理に努めます。	定期的なパトロールを実施し、道路の維持管理に努めている。
c	道路に布設される上下水道、電気、ガスなどについては、快適な都市生活を支えるものであり、関係機関と調整し協力するなかで、整備、促進に努めます。	年度当初に、関係機関や企業と整備に関し調整をはかっている。

第5 うるおいのあるまちを築く(質の高い都市基盤整備)		実施状況
1 まちの礎を築く(都市基盤の整備)		
(2) 上水道		
① 水の安定供給		
A 水資源の確保		
a	水資源の確保のため、雨水浸透施設の設置など地下水の涵養をはかるとともに、良好な水源施設の維持、管理に努めます。	①児童センター(ばれっと)や昭和公園野球場などの大規模施設については雨水利用施設を設置し、それ以外の新築施設については雨水浸透施設を設置した。 ②「奥多摩・昭島市民の森」事業を推進した。 ③雨水浸透施設の設置助成を行った。
B 自己水源の維持・管理		
a	水源井のしゅんせつ改修を定期的実施するなど、水源施設の適切な維持管理に努めます。	毎年3水源の浚渫改修を行い、井戸の維持管理に努めた。
C 水道施設の整備・拡充		
a	配水管網の整備拡充をはかるほか、老朽管を耐震管に布設替えるなど、災害に強い水道施設の整備を進めます。	老朽管の耐震管への布設替について、計画的な実施をはかった。
D 水の安全性の保持		
a	地下水汚染防止のための適切な措置を事業所などに求めるとともに、水質検査を充実し、水の安全性を保持します。	市内企業井戸の水質検査を実施し、地下水の水質の状況の確認に努めた。
② 水の有効利用		
A 節水活動の推進		
a	市民や事業所の節水意識を高め、節水型都市づくりを進めます。	①広報誌「水道だより」を年3回発行し、節水啓発に努めた。 ②節水啓発ポスターコンクールを隔年実施した。
b	雨水利用や循環利用を促進するなど、水の有効利用を進めます。	①児童センター(ばれっと)や昭和公園野球場などの大規模施設については雨水利用施設を設置し、それ以外の新築施設については雨水浸透施設を設置した。 ②雨水浸透施設や雨水貯留槽の設置助成を行った。 ③浄化槽の雨水貯留施設転用助成制度を実施した。
B 漏水防止対策の推進		
a	配水管や給水管の漏水調査を継続的に行い、漏水の早期発見に努め、漏水防止対策をはかります。	毎年、市内全域を調査し漏水の早期発見に努めた。

第5 うるおいのあるまちを築く(質の高い都市基盤整備)		実施状況
1 まちの礎を築く(都市基盤の整備)		
(3) 下水道		
① 汚水処理の推進		
A 汚水管渠の整備		
a	事業認可区域のうち未整備区域となっている中神土地区画整理事業(第二工区・第三工区)地区について、汚水管渠の早期完成に努めます。	汚水管布設工事はほぼ完了している。

B 水洗化の普及促進	a 未水洗化の一般家庭及び事業所に対し、効果的な啓発や指導を行い、100%普及の実現に努めます。	未接続世帯への訪問や資料送付による接続要請・啓発活動に努めた。
② 雨水処理の推進	A 雨水管渠の整備	
	a 築造中の雨水幹線管渠及び各枝線管渠の整備推進に努めます。	計画的な工事の実施に努め、幹線の整備率は74.3%となっている。
	B 雨水の流出抑制・有効利用	
	a 雨水の流出抑制と地下還元をはかるため、雨水浸透マスの設置を積極的に進めます。	①開発協議において、雨水浸透施設の整備を指導し、完了検査により確認している。 ②雨水浸透施設設置助成制度を実施した。
	b 公共施設での雨水利用はもとより、民間施設や一般家庭にも可能な限り雨水の利用をはかるよう要請します。	①児童センター(ばれっと)や昭和公園野球場などの大規模施設については雨水利用施設を設置し、それ以外の新築施設については雨水浸透施設を設置した。 ②浄化槽の雨水貯留施設転用助成制度を実施した。 ③雨水貯留槽の設置助成を行った。
	c 透水性舗装の推進をはかります。	私道、歩行者通路及び狭あい道路並びに駐車場などの透水性舗装の施工に努め、雨水の地下還元をはかった。
③ 水質保全の推進	A 排水の規制	
	a 危険・有害物質などが公共下水道に放流されないよう、水質監視を行います。	東京都流域下水道本部と共同で定期的な水質検査を実施している。
	b 悪質な汚水を排出する恐れのある事業所などに、除害施設の設置、排水基準の遵守などの指導を引き続き行います。	①定期検査で基準値を超えていた場合には、注意書により指導し、対応策及び対策後の試験結果の提出を義務付け、確認している。 ②苦情等があった場合は、現地調査を実施し、必要に応じて指導を行っている。
	B 汚水の高度処理の促進	
	a 多摩川上流処理場に対して、処理水の再利用とともに、多摩川の水質をより一層向上させるよう高度処理の促進などについて要請します。	多摩川上流水再生センターの高度処理能力は39.5%であり、現在第5系列を施工中である。
④ 維持管理の推進	a 管渠施設、ポンプ場施設などの諸施設の機能が十分発揮できるよう、点検、清掃、補修などの維持管理作業を行います。	大規模地震に備え、ポンプ場において改築・更新工事を実施している。また、管路施設においても、耐震化を実施している。定期的な点検・修繕を実施した。
	b 全庁的な地図情報システムの導入にあわせ、下水道台帳の整備を進めます。	東京都流域下水道本部の台帳システムを導入した。
⑤ し尿の処理	a 公共下水道の普及促進をはかりつつ、し尿の衛生的な収集処理を進めます。	①下水道接続率は98.5%となっている。 ②処理方法を希釈放流方式に変更した。
	b 下水道普及後のし尿処理体制のありかたについて検討を行います。	①立川・昭島衛生組合を解散し、昭島市クリーンセンターとして運営を開始した。 ②処理方法を希釈放流方式に変更した。 ③クリーンセンター敷地利用計画を策定し、22年度に第6消化槽の解体工事を施工した。

第5 うるおいのあるまちを築く(質の高い都市基盤整備)	実施状況
2 魅力あるまちをつくる(市街地の整備)	
(1) 公共交通	
① 鉄道輸送の充実	
A 輸送力の増強	
a 混雑緩和に向けた電車の増発、長編成化による輸送力の増強及び利便性を考慮した特別快速などの直通電車の増発について関係機関に要請します。	毎年、JR東日本・八王子支社に電車の増発などについて要請を行っている。

B 駅舎改良		
a	駅利用者の利便性を高めるため、未整備駅舎の改善整備を関係機関に要請します。	都市整備部交通対策に移管されました
b	八高線の新駅設置について、引き続き強く関係機関に要請します。	沿線自治体で構成する協議会で毎年要請している。
C 利便性の確保		
a	高齢者などが利用しやすい施設改善(バリアフリー化)については、鉄道事業者と連携をはかり、国などの諸制度を活用しつつその整備に努めます。	市内各駅のバリアフリー化は終了している。
② バス輸送の充実		
A 路線網の充実		
a	鉄道各駅への接続、公共施設への交通の確保をはかるため、交通不便地域の解消と地域の交通需要に対応したバス路線の充実に努めます。	ルート毎の利用状況調査を実施した。
B 運行・利便性の確保		
a	生活サイクルにあわせた運行数の確保、高齢者などが安心して利用できる低床式車両の導入など利便性の向上をバス会社に要請します。	機会を捉えて運行数の確保等について要請している。
C 道路整備		
a	自動車交通の増加による交通渋滞は、定時性を最も重要視するバスの運行に大きな影響を与えることから、バス機能の低下をきたさないよう国や東京都などと連携して道路整備の促進に努めます。	概ね、現在までに計画されていた市道整備は終了している。
③ 駅前広場、バスターミナルの整備		
a	市民の足としての根幹をなす鉄道、バス、タクシーの結節点である駅前広場については、ターミナル性に配慮しつつその整備を推進し、公共交通の一体的な機能充実に努めます。	東中神駅北口交通広場の広場面積及び施設量の検討を行った。

第5 うるおいのあるまちを築く(質の高い都市基盤整備)		実施状況
2 魅力あるまちをつくる(市街地の整備)		
(2) 市街地整備		
【中神土地区画整理事業】		
① 事業の推進		
A 第二工区(住宅地区)		
a	調査会の答申をもとにした基本計画に基づき、引き続き駅前ブロックの事業を推進します。	①基本計画に基づき、事業の推進に努めた。 ②道路整備率は86%に達している。
b	北・西ブロックについては、駅前ブロックの進捗を勘案しながら事業の推進に努めます。	事業用地の不足などにより、事業着手に至らなかった
B 第三工区(住宅地区)		
a	第三工区については、現況での環境整備に努めるなかで引き続き検討を進めます。	第二工区事業の長期化などにより、事業着手に至っていない。
② 関連公共施設の整備		
A 道路整備		
a	都市計画道路である八王子村山線(昭3・4・9号)の早期完成に努めます。	八王子村山線(昭3・4・9号)は整備完了した。
B 公共下水道の整備		
a	第二工区及び第三工区内の公共下水道の整備を行います。	①汚水管整備は今後新設される道路を除き完了した。 ②雨水管整備は東部1号幹線を完了し、東部3号幹線を中神駅北口まで施工した。また、東部2号幹線は工事を実施している。

第5 うるおいのあるまちを築く(質の高い都市基盤整備)		実施状況
2 魅力あるまちをつくる(市街地の整備)		
(2) 市街地整備		
【立川基地跡地利用】		
① 多摩地域における拠点都市の形成		
A 都市的サービス機能の立地、誘導		
a	基地跡地内の業務地を中心として、「多摩の『心』」にふさわしい業務、商業、文化、情報などの都市機能を立地、誘導し整備をはかります。	国へ提出した土地利用計画において、東中神駅に近いエリアは、業務・商業系や住宅系施設の融合した、賑わいと活気あふれるゾーンとして位置付けている。

B 新・交流拠点としての整備	a 広域的な商業・業務拠点として、また、市民の多様な活動を支える新たな交流拠点としての整備をはかり、魅力と活力にあふれたまちづくりを進めます。	「多摩の拠点整備基本計画」において立川基地跡地は、広域的な諸機能と連携する新たな交流拠点として位置付けられている。
C 駅前市街地開発の推進	a 東中神駅北側地区については、市街地開発事業により、都市機能のサービス拠点として、また良好な住環境を備えた市街地として整備を進めます。	東中神駅北側地区については、社会経済状況の変化により、東京都施行の土地区画整理事業は行われなかったこととなった。
② 都市基盤の整備	A 立川基地跡地と東中神駅北側地区の整備	
	a 新たな公共的空間を確保していくため、低・未利用地、住商混在市街地などの再編、駅前広場や関連道路などの整備に向けた市街地開発事業を展開し、土地利用の転換をはかります。	東中神駅北側地区については、社会経済状況の変化により、東京都施行の土地区画整理事業は行われなかったこととなった。 立川基地跡地については、国へ提出した土地利用計画に基づき、交通広場や関連道路などを土地区画整理事業により整備をはかることとした。
B 交通網・情報通信基盤の整備	a 市街地整備にあたっては、国営公園西線(昭3・2・11号)、国営公園南線(昭3・2・3号)及び区画街路などを整備し、他圏域との連絡、交流を支える交通基盤の整備をはかります。また、高度な情報通信基盤の導入をはかるため、共同溝などの整備を促進します。	関係6者で締結した「土地区画整理事業の施行に関する基本協定」により、区画整理事業区域内については独立行政法人都市再生機構が平成28年度までに、周辺区域については東京都が土地区画整理事業の進捗に合わせて、整備をすることとなった。
C 総合公園の整備	a 東京都の「緑のマスタープラン」では、当該地にレクリエーションや防災の役割をもった総合公園の設置が位置づけられており、その整備にあたっては、うるおいと憩いの場の確保に努めます。	総合公園と一体不可分であった下水処理場は整備しないこととなったため、国へ提出した土地利用計画では、調節池の平常時利用や昭和記念公園との連担に配慮した一定規模の環境保全用地の配置を位置付けている。
D 良好な住環境の整備	a 立川基地跡地については国営昭和記念公園との隣接をいかした水と緑による環境づくりをテーマとしながら、うるおいのある循環型の市街地整備をはかります。また、東中神駅北側の既成市街地についても、安全で快適な住環境の整った市街地の形成に努めます。	国へ提出した土地利用計画において、「環境保全や環境負荷の軽減、周囲に公園等、連続した緑の空間を確保するなど緑を基調とした、人と自然が調和した「人に優しい」まちづくりを実現する。」ことを基本コンセプトの1つとしている。 なお、東中神駅北側地区については、社会経済状況の変化により、東京都施行の土地区画整理事業の実施が困難となっている。

第5 うるおいのあるまちを築く(質の高い都市基盤整備)	実施状況
2 魅力あるまちをつくる(市街地の整備)	
(2) 市街地整備	
(駅前整備)	
① 駅前地区の整備	
A 西立川駅前地区	
a 駅北側は、立川基地跡地利用計画に基づき、昭和58年(1983年)に国営昭和記念公園が一部開園し、これにあわせ駅北口も開設されています。また、JR青梅線沿いの未利用地については、立川基地跡地の整備にあわせて商業・業務機能などの誘導に努めます。	JR青梅線沿いの未利用地については、関係機関と協議し、鉄道から国営昭和記念公園への景観を確保するため、土地活用を抑えることとした。
b 南側については、民間による開発計画などの動向を踏まえながら道路整備を検討するとともに、適切な土地利用の誘導に努めます。また、駅前広場については、立川市との境界に位置していることから、立川市と協議調整をはかりながら整備を進めていきます。	民間による開発事業により、駅前に抜ける南北自転車・歩行者道の整備を行なった。 駅前広場については、立川都市計画道路3・5・35号の施設であるが、本路線は「多摩地域における都市計画道路の整備方針」において平成27年度までに整備すべき路線に選定されていない。

B 東中神駅前地区		
a	駅北側については、「多摩の『心』」立川の一翼を担う拠点都市にふさわしい玄関口として、整備促進をはかります。	立川基地跡地昭島地区については、関係6者で「土地区画整理事業の施行に関する基本協定」を締結し、核都市にふさわしい広域的な機能や業務・商業機能等の導入を図り、緑豊かで良好なまちづくりを実現することとした。 東中神駅北側地区については、社会経済状況の変化により、東京都施行の土地区画整理事業は行われないこととなった。
b	南側の駅前広場は、既に完成し交通機能は充足されていますが、駅北側地域との整合をはかるなかで、再整備について検討します。 なお、橋上駅舎化については、立川基地跡地昭島地区土地利用構想に基づく周辺整備計画との関連において促進をはかります。	北口交通広場や、橋上駅舎化とあわせて実施する南北自由通路整備、駅周辺の駐輪場整備について調査を行った。また、調査結果を用いてJRと協議を行っている。
C 中神駅前地区		
a	駅北側は、区画整理事業により整備をはかります。	駅前広場整備は平成20年度に完成した
b	南側については、駅前広場が未整備であり、周辺道路も狭隘であることから、都市計画決定されている駅前広場の整備などについて検討します。	中神駅南口駅前広場及び中神停車場線(都道152号線)の拡幅について、毎年、東京都に整備促進を要請している。
D 昭島駅前地区		
a	昭島駅周辺と市役所周辺を結ぶ拝島橋昭島線(昭3・4・18号)などを整備するとともに、南北を結ぶ新たな道路整備について検討します。	①拝島橋昭島線(昭3・4・18号)は、一部を除き完了した。 ②南北を結ぶ新たな道路整備については、具体的な計画に至らなかった。
E 拝島駅前地区		
a	拝島駅南側は、駅前広場が狭隘なため交通混雑の解消や商業環境の改善が必要であることから、江戸街道(昭3・4・2号)や駅前広場の整備に努め、安全の確保と交通混雑の解消とともに、商業の活性化をはかります。 また、南北自由通路の建設については、関係機関との協議調整を進め、総合的な検討のなかで実現に努めます。	①自由通路整備及び駅舎橋上化工事は、完了した。 ②市民協働によるまちづくり計画の策定を行った。 ③駅前広場を含む都市計画道路3・4・2号整備に係る用地取得に努めた。
F 西武立川駅前地区(南側)		
a	駅南側周辺については、大規模住宅団地の建設が計画されていることから、道路、駅前広場などの都市基盤整備とともに、良好な住宅・住環境が形成されるよう誘導に努めます。	宅地開発等指導要綱に基づく指導のもと、大規模住宅団地は完成した。 ②大規模住宅団地の建設が計画は中止され、事業主が新たな計画を検討している段階である。
② 駅前広場の整備		
A 自転車駐車場などの整備		
a	引き続き駅前周辺の自転車駐車場の整備充実に努めます。	①駅前地区の整備にあわせ、自転車駐車場の整備に努めた。 ②自転車駐車場の適切な維持管理に努めた。
B 緑の確保		
a	駅前広場の整備にあわせて緑の確保に努めるとともに、周辺市街地についても駅を核とした緑のまちづくりを推進します。	駅前地区の整備にあわせて、緑の確保に努めた。
b	駅前花壇については、市民との協力を進めながら、市民の緑化活動の場としての活用を検討します。	花の応援事業を年2回毎年実施し、駅前広場等に花プランターを設置した。
第5 うるおいのあるまちを築く(質の高い都市基盤整備)		実施状況
2 魅力あるまちをつくる(市街地の整備)		
(3) 住宅		
① 住宅マスタープランの推進		
	「住宅マスタープラン」に基づき、本市の特性に応じた住宅施策を体系的、総合的に推進します。	住宅マスタープランに基づき、住環境整備に関する各種補助を実施した。

② 住宅の供給		
A 住宅金融融資制度の拡充		
a	多様化、高度化した住宅需要に対応し、良質な住宅の確保や良好な住環境の整備をはかるため、住宅金融融資制度の拡充について、国や東京都など関係機関へ要請します。	機会をとらえ、関係機関へ要請した。
B 福祉住宅の確保		
a	高齢者、障害者などが、住みなれた地域社会のなかで、健康で安心して生活を営むことができるよう、住宅のバリアフリー化やシルバーピアの確保など諸施策の充実について、国や東京都などの関係機関に要請を行います。	都営住宅建替え時に、シルバーピアの確保などを要望している。
b	自立を支える支援として、住宅の借上げや住宅改善のための相談制度などの実施について検討します。	①住宅の改善相談などについては、介護保険制度など、福祉施策の中で対応がはかられている。 ②住宅の借上げについては、実現に至っていない。
C 公営住宅地元優先入居枠の確保		
a	都営住宅など公営住宅の建替事業に際して、地元優先入居枠の拡大に努めます。	地元優先入居枠の拡大について、関係機関に要望している。
③ 住環境の整備		
A 良好な住環境基盤の整備		
a	道路、公園など都市基盤の整備を進め、災害に強い良好な住環境の確保に努めます。	計画的な都市基盤整備に努めている。
b	緑とオープンスペースの確保や自然環境に調和した環境共生型の住宅・住環境の誘導など、都市景観に配慮した安全で快適な住環境の形成に努めます。	宅地開発等指導要綱や地区計画などによる誘導を行っている。
c	分譲マンションの維持管理及び建て替えに関する相談に適切に対応します。	維持管理に関わる情報提供を行っている。
d	民間住宅の耐震診断について、支援をはかります。	耐震診断の支援制度を実施している。
B 宅地開発の規制と誘導		
a	良好な住宅地の整備と適切な生活空間の確保や緑化の推進をはかるため、宅地開発にあたっては、関係法令や宅地開発等指導要綱に基づき、優れた宅地開発への誘導をはかります。	宅地開発にあたって、関係法令や宅地開発等指導要綱に基づき、優れた宅地開発への誘導に努めた。
C 公的住宅の建て替え		
a	老朽化などにより建て替えを必要とする公的住宅については、福祉住宅の確保をはじめ、公園の整備や緑化の推進など地域の生活環境の向上に配慮した建て替えを進めるよう、国や東京都など関係機関に要請します。	必要に応じ、関係機関に要請している。

第5 うるおいのあるまちを築く(質の高い都市基盤整備)		実施状況
2 魅力あるまちをつくる(市街地の整備)		
(4) 都市景観		
① ゆとりある街並みの創造		
A 自然景観と歴史的景観の保全		
a	連続する崖線の緑地や湧水、水路、樹林など、昭島らしさを感じることでできる多くの貴重な自然景観を将来にわたって保全するよう努めます。	①立川崖線の公有化を推進した。 ②野水堀景観まちづくり事業に取り組んだ。
b	まちの景観の視点から歴史的文化遺産を再評価し、保全していくことにより、個性ある景観の形成を進めます。	歴史的文化遺産の再評価により、これまで国登録有形文化財であった「旧三井家拝島別邸(啓明学園北泉寮)」が、都指定有形文化財となった。
B 景観に配慮した建築物の整備		
a	公共建築物については、周辺の景観や環境との調和をはかるよう努めます。	施設の新築については、周辺の景観考慮しながら親しみやすく特徴のある施設としており、また、公園便所については、それぞれ特徴のある外観とした。

	b 民間建築物については、市民の協力を基本に、緑化の推進をはじめ、*地区計画制度などの活用による色彩感の統一、建築物の高さを一定に定めるスカイラインの設定、施設のデザインなどについて、周辺の街並みとの調和がはかれるよう誘導します。	①昭島駅北口駅前地区地区計画を策定し、建築物の色彩の制限や高さの最高限度等を定めた。 ②拝島駅南口地区地区計画を策定し、建築物の色彩の制限や、スカイライン形成のため10mを超える部分の壁面後退を設定した。
C 道路環境の整備		
	a 道路整備にあたっては、街路樹や花壇などを設けるとともに、架空線の地中化についても引き続き関係機関と協議し、安全で快適な道路環境づくりを進めます。	①道路整備にあたっては、街路樹や植樹帯などによる緑化に努めた。 ②架空線の地中化については、実現に至っていない。
D ふれあいの広場の創造		
	a 機能性だけでなく、景観にも配慮し、調和とゆとりのある駅前広場やポケットパークの整備など、人と人とのふれあいの場を創造します。	市内に20箇所のポケットパークの整備を行ってきた。
E 地域シンボルなどの創造		
	a 市民が地域社会に愛着をもてるようなモニュメントなどを設置するとともに、公共施設の整備にあたっては、地区の実状に応じて景観に配慮し、地域のシンボルともなるような整備を進めます。	①ポケットパーク等を整備する際、モニュメントの設置を進めてきた。 ②施設の新築については、周辺の景観考慮しながら親しみやすく特徴のある施設としており、また、公園便所については、それぞれ特徴のある外観とした。
F 道路、公園、河川などの美化		
	a 緑の拠点である多摩川周辺、玉川上水周辺、国営昭和記念公園周辺をつなぐ道路などを軸として、市街地の緑化を進め、緑のネットワーク化を進めます。	①本市の事業では水辺の散歩道の整備や、野水堀の景観まちづくり事業を実施した。 ②東京都は玉川上水沿いに、国は多摩川沿いに、散策路整備を継続して実施した。
	b 幅員にゆとりのある道路などについては、シンボルとなる街路樹づくりや市民の協力による緑化など、緑豊かな整備に努めます。	①道路整備にあたっては、街路樹や植樹帯などによる緑化に努めた。 ②シンボルとなる街路樹づくり(庁舎周辺の歩道にカリン植栽)に努めた。 ③花の応援事業(緑のボランティア)を実施した。
② 市民意識の高揚		
A 景観意識の啓発		
	a 地域の景観特性を知り、愛着をもって自らの地域を大切にすよう、一人ひとりの行動の重要性について啓発に努めます。	①景観まちづくりの一環として、市民プラン策定市民会議や市民プラン検討委員会、市民懇談会を実施し、景観意識の啓発に努めた。 ②景観まちづくりモデル事業として、野水堀(郷地町、福島町)の整備を実施した。
B 景観施策の推進		
	a 地区計画制度や宅地開発等指導要綱などの活用により、豊かな自然・歴史的景観を保全します。	昭島駅北口駅前地区地区計画で、公園広場や環境緑地を設けるよう定めた。

第6 活力を生む(産業の活性化)		実施状況
1 産業を育む(活力ある産業の振興)		
(1) 商工業		
① 商業の振興		
A 商業振興ビジョンの策定		
	a 商業発展の方向と各地域の特性をいかした商業振興ビジョンを策定します。	産業振興計画を策定した
B 経営支援策の充実		
	a 商工会の経営指導体制の充実支援に努めるとともに、商工会と連携し中小企業への相談機能の充実、商工業に関する調査研究や人材育成を促進します。	①製造業課題解決事業を実施した。 ②商工会補助金の事業別内訳書添付化をはかり、さらなる事業評価の実施に努めた。
	b 中小企業の資金調達の円滑化をはかり、経営の安定化や合理化を促進するため、融資制度の充実に努めます。	①小口事業資金融資の整備に努めた。 ②緊急対策事業資金融資制度を創設した ③取扱金融機関を1行増やした。
	c 商店などに対し情報技術の導入を支援するとともに、関係情報の提供に努めます。	QRコードによる情報の提供をはかった。
C 商店街環境整備の推進		
	a 魅力的な商店街を形成するため、アーケードや駐車場などの環境整備の推進について支援します。	商店街のイルミネーション設置やサインボードの改修、モニュメントの整備などを支援した。

	b 消費者ニーズを取り入れた共同事業を支援し、商店街の活性化を推進します。	①プレミアム付商品券を発行した。 ②まごころ感謝祭を実施した。
	c 商業振興実施計画に基づく新たな商品の開発や各種イベントを支援するとともに、買い物情報の提供に努めます。	商店会を盛り上げるため、参加商店街が定期的に寄席を開催した。(昭島商店会街道寄席)
	d 活力ある商業振興及び個性的な商店街の創出に努めます。	空き店舗対策事業でクジラロード商店街に「バレエヌ東中神」を開店した。
	e 大型店と周辺生活環境との調和に努めます。	大規模小売店舗立地法に基づき周辺生活環境の調和をはかった
② 工業の振興		
A 工業振興ビジョンの策定		
	a 産業構造の変化に対応した工業振興ビジョンを策定します。	産業振興計画を策定した。
B 経営支援策の充実		
	a 工業経営の安定をはかるため、各種制度を活用して中小企業の組織化や近代化を支援します。また、異業種間の交流などを進め、経営基盤の強化に努めます。	①青梅線沿線地域産業クラスター協議会の設置をはかった。 ②たま工業交流展を開催した。 ③リーディングカンパニー事業の推進に努めた。
	b 地元産業の活性化につながるニュービジネス、ベンチャービジネスなどに対する支援に努めます。	産業サポートスクエア内にインキュベーション施設が開設された。
C 立地・生産環境の整備促進		
	a 公害のない住みよい環境づくりをはかるため、環境対策の促進と工場地域内の緑地空間の確保を誘導します。	環境配慮事業者ネットワークが設立された。
	b 立川基地跡地などの整備にあたっては、産業構造の変化や既存工業の活性化、雇用の拡大などを勘案し、都市型業務機能の立地誘導に努めます。	都立短大跡地における東京都産業支援拠点の整備がなされた。多摩テクノプラザの試験機器利用料の助成制度を創設した。
	c 市民と企業との相互理解と連携をはかるため、企業の理解と協力を得て、企業施設の開放による交流活動を促進するとともに、ボランティア活動やイベントの開催、また学校教育や社会教育をとおして地元産業についての学習機会の充実に努めます。	IHIやHP、日本電子において、市民、児童・生徒の見学、学習機会を確保した。IHIの協力で「その未来館」の夏休み親子見学会を実施した。
③ 商工団体の支援		
	a 商工業の振興、発展をはかるため、商工会や商工業団体との連携を強化し、その活動を支援します。	商工会及びくじら祭への補助事業を実施した。
	b 立川基地跡地内への中小企業振興センター建設にあたっては、中小企業の発展をはかるため、地元商工業者の意向が十分に取り入れられるよう努めま	都立短大跡地における東京都産業拠点施設の整備がなされた

第6 活力を生む(産業の活性化)		実施状況
1 産業を育む(活力ある産業の振興)		
(2) 農業		
① 生産基盤の確立		
A 認定農業者制度の確立		
	a 農業経営基盤強化促進法に基づき実施される、意欲と能力のある農業経営者の認定制度について検討します。	①都市農業振興計画を策定した。 ②認定制度により、31人の農業者が認定を受けた。
B 農地保全システムの確立		
	a 農業委員会を受け皿にした、新たな農地の貸し借りのシステム(農地バンク)をつくり、規模拡大をめざす農家や営農集団が安心して借りられ、規模縮小農家が安心して貸せるシステムをつくりま	農地法の改正で農地の貸し借りの規制は緩和されたが、都市部の農業、農地への運用は厳しい状況にある。
② 高付加価値型農業の推進		
A 有機農産物等認証制度の推進		
	a 減農薬、減化学肥料の農業生産を推進するため、東京都の有機農産物等認証制度の活用を指導します。	減農薬事業で寒冷紗、パオパオ、フェロモン剤等を補助した。
B 地場流通活動の推進		
	a 地元で生産した農畜産物を地元の消費者に供給する地場流通を展開し、農業生産者が自分でつくった農畜産物は自分で販売価格を決め、販売する共同直売を推進します。	①農産物協働販売所「ふれっ旬」の設置や、夕市の開催などにより地産地消の推進がはかられた。 ②直売マップを発行した。 ③JA東京みどりが共同直売所を開設した。

C 都市農業ブランド化推進事業の継続		
a	鉢花、花壇苗、鶏卵、果菜類を対象に実施した都市農業ブランド化推進事業を、さらに推進するため、農家が生産する農畜産物の付加価値を高める施策を推進します。	東京都補助事業で野菜栽培専用の大型パイプハウスを多数整備した。
③ 農業経営者の育成		
A 自立型農業経営体の育成		
a	意欲ある若い農業者の営農集団による都市農業が展開できるよう、育成支援します。	①「昭島エコファーマーズ」が結成された。 ②フレッシュ&Uターンセミナーの受講がはかれた。
B 女性農業者の地位確立		
a	女性や若者にとって、農業を魅力ある職場とするため、農業経営や暮らしを見直すとともに、将来に向けた経営計画や生活設計を樹立して、一人ひとりの夢を実現するための「家族経営協定」を推進します。	①女性農業者グループ「工房旬」が結成された。 ②「工房旬」の加工品事業の拡大がはかられた。
C 体験型農園の拡充		
a	創意工夫をした農業経営を展開し、円滑な継承に資する条件を整備する一つの方法として、体験型農園の経営を推進します。	①体験型農園の増加がはかられた。 ②市民農園を開設した。
④ 市民とふれあう農業の推進		
a	農畜産物直売消費者交流施設の安定した運営をはかるため、農業者と消費者、農協と市の4者が協力して維持管理を行い、この施設を窓口に農業者と消費者・市民の交流を推進します。	①ふれっ旬の運営による交流がはかられた。 ②親子米づくり教室を開催した。 ③学校給食米供給支援を実施した。 ④農ウォークを開催した。
⑤ 安全で環境にやさしい農業の推進		
a	有機農業、減農薬、減化学肥料による農業を進め、消費者に安全な農産物を提供するとともに、環境に配慮した農業を推進します。	減農薬の推進で寒冷紗、パオパオ、フェロモン剤等を補助した
b	生物活性水を含んだ鶏ふんの堆肥化を推進します。	鶏糞と剪定枝による新たな堆肥づくりを推進した。

第6 活力を生む(産業の活性化)		実施状況
2. 勤労者福祉を充実する(勤労者の福祉向上)		
(1) 勤労者		
① 雇用の安定		
A 勤労の尊重		
a	地域経済を支えている人々の永年の勤労を尊重し、技能功労者や永年勤続者の表彰を引き続き実施します。	技能功労者表彰を実施した。
B 就労の確保		
a	求人・求職や新しい働き方に関し、インターネットを活用した情報の提供に努めるとともに、定年後の継続雇用、女性、高齢者、障害者の就労機会の拡大について、関係機関と連携し、その促進に努めます。	①シルバー人材センターの支援に努めた。 ②合同就職面接会を開催した。 ③ハローワーク等の求人情報の提供につとめた。
C 労働相談の充実		
a	勤労者がいきいきとした働き方ができるよう、労働生活全般にわたるさまざまな問題の解決を支援するため、関係機関の協力を得て、労働相談の充実に努めます。	①街頭労働相談を実施した。 ②社会保険労務士による雇用・労働相談を実施した。
② 福利厚生の充実		
A 勤労市民共済会への支援		
a	小規模事業所に働く勤労者、家族の福利厚生事業を充実するため、勤労市民共済会の支援に努めるとともに、会員の加入促進、組織や機能の充実に努めます。	①勤労市民共済会への支援をはかった。 ②共済会業務の見直しに努めた。 ③事務局体制の効率化をはかった。
B 生活の安定		
a	冠婚葬祭、医療、教育や住宅の補修など勤労者・市民の一時的出費に要する市民生活資金融資制度の拡充に努め、生活の安定をはかります。また、関係機関の融資制度の情報提供に努めます。	①市民生活資金融資あっせん制度を継続して実施した。 ②東京都や社会福祉協議会などの融資制度の情報提供に努めた。

C 自主的活動への支援		
a	自己研さん、生活向上をめざした学習活動やスポーツ・レクリエーションに対し、その機会、場所及び情報の提供など勤労者の自主的な活動への支援に努めます。	勤労商工市民センターや市民交流センターにおいて、活動の場の提供をはかった。
③ 職場環境の改善		
A 労働条件の整備		
a	パートタイム労働、派遣・契約社員を含む勤労者の適正な労働環境を確保できるよう、関係機関と連携し、事業主に対し要請します。	①東京しごとセンターや東京都労働相談情報センターとの連携に努めた。 ②市内企業の雇用状況等の調査を実施した。
b	中小企業退職金共済制度の普及及び加入促進に努めます。	①街頭労働相談での啓発に努めた。 ②リーフレットの配布を行った。
B 勤労者教育と情報の提供		
a	法改正や労働環境の変化に対応した各種労働情報の提供、講座の開催に努めます。	①労働セミナーを実施するとともに労働情報の提供に努めた。

第6 活力を生む(産業の活性化)		実施状況
3.消費生活を豊かにする(消費生活の充実)		
(1)消費者		
① 消費者意識の普及、啓発		
A 情報提供の充実		
a	消費者の要望に幅広く対応するため、インターネットを活用した情報の収集、提供に努めます。	消費生活相談室のホームページを新設した。
B 消費者教育の推進		
a	食品や商品などの安全性、取引上の被害防止などについて、正しい消費者知識の普及をはかるため、各種講座や消費生活展などを充実し、消費者教育・啓発の推進に努めます。	①消費生活展を実施した。 ②消費生活講座を実施した。
② 消費者利益の保護		
A 消費生活相談の充実		
a	日常生活において取引上発生する被害の未然防止に努めるとともに、被害救済に速やかに対応できるよう消費生活相談の充実に努めます。	①消費生活相談室を市役所本庁舎に移転した。 ②相談員と庁内各課との連携をはかった。
b	トラブルに巻き込まれやすい高齢者や若者に対する相談業務の充実に努めます。	①高齢者や若者対象の特別相談を実施した。 ②老人クラブ連合会や民生委員、介護施設などに対する啓発事業を実施した。
B 消費者意見の反映		
a	消費者の意見、要望を消費者行政に的確に反映させるため、モニター制度の活用などをはかります。	東京都や農林水産省のモニター制度の活用をはかった。
C 消費者・消費者団体の支援		
a	消費者及び消費者団体の自主的活動を支援し、活動の拠点である消費者ルームの活用促進に努めるとともに、消費者センターの設置について検討します。	①勤労商工市民センター内に消費者ルームを設置した。 ②消費生活講座などの支援に努めた。
b	消費者の保護に関する条例の制定について、引き続き検討します。	東京都の条例などを参考に研究を行った。
c	食品をはじめとする商品やサービスの安全性、安心性などの確保について、引き続き関係機関に要請します。	安全性、安心性の相談に関しては、必要に応じ関係機関に調査を依頼した。
③ 環境にやさしい消費者行動の促進		
A 環境保全、省資源、省エネルギー意識の普及		
a	省資源、省エネルギー意識の定着化をはかるため各種の情報提供や学習の機会づくりに取り組み、消費者意識の高揚に努めます。	リサイクル展、産業まつり、消費生活展などにおいて、省資源、省エネルギーの意識啓発に努めた。
B 資源有効利用の促進		
a	ごみ減量運動、有価資源のリサイクル運動、生活用品交換情報などの充実に努めます。	本市主催のイベント等において、リサイクル運動の啓発に努めた。
b	消費生活におけるエネルギーの合理的、効果的な使用を進めるため、環境保全型商品の選択に配慮するなど資源の有効活用の促進に努めます。	リサイクル展、産業まつり、消費生活展などにおいて、省資源、省エネルギーの意識啓発に努めた。

計画実現のために 計画実現のために	実施状況
(1) 情報の共有と協働の推進	
① 市民との協働(パートナーシップ)の推進	
a 市民と行政が市政の目標を共有し、まちづくりに市民の意思が反映されるよう努め、市民のまちづくり意識を高めます。	① 拝島駅関連整備において、市民協働によるまちづくり計画の策定を行った。 ② パブリックコメント手続指針を策定した。 ③ 総合基本計画の策定に関し、市民ワークショップを実施した。
b 各種審議会などへ女性や若者の参画を進めるなど、行政への参画機会の拡充に努めます。	① 昭島市附属機関等の設置及び運営に関する要綱を制定した。 ② 総合基本計画の策定に関し実施した市民ワークショップでは、16歳からの参加を可能とした。
c 市民と行政、また市民相互がネットワークできるような体制の整備に努めるとともに、市民活動の支援として人材バンクの充実をはかります。	① 情報化推進計画の策定において、別冊として、地域情報化推進方針書を策定した。 ② 人材バンクについては、事業関連での充実に努めた。
② 開かれた市政運営の推進	
A 市民との情報共有化の推進	
a 市政に関する情報提供を進め、市民の市政に対する理解を深めるため、より親しみやすい広報紙の発行とその充実に努めます。	① A4判化及び2色刷りを実施した。 ② 文字の拡大化をはかった。 ③ 特集記事(あきしままるごと事典、昭島豆知識、昭島の学校、行政こんな取り組みなど)の充実に努めた。
b 高齢者や障害者の利用も配慮し、コンピュータやケーブルテレビをはじめ、多様なメディアを活用した情報提供や広報活動を進めます。	① 「声の広報」を発行している。 ② 点字広報紙を月1回発行している。 ③ ホームページに広報誌を掲載している。 ④ 携帯電話を活用した情報の提供をはかった。 ⑤ パブリシティ(報道機関にイベント案内や市政情報を連絡し、新聞等で取り上げてもらうこと)の推進に努めた。
c 市民との情報の共有化をはかるため、出張説明などにより、市のもつ情報を市民に積極的に提供します。	各種事業の実施において、必要に応じ、市民説明会を開催し、情報の共有化に努めている。
B 情報公開の推進	
a 市民参加による開かれた市政を展開するため、情報公開制度と個人情報保護制度の周知と活用を努め、情報公開の総合的な推進をはかります。	① ホームページに制度の紹介を掲載し、広報紙で運用状況を公表している。 ② パブリックコメント手続指針を策定した。 ③ ホームページに制度の紹介を掲載し、広報紙で運用状況を公表している。 ④ 公共的団体への協力要請をはかり、商工会、社会福祉協議会及びシルバー人材センターで情報公開に関する要綱を策定済みである。 ⑤ 職員に対し事務取扱説明会を実施した。
C 市民ニーズの把握	
a 市民の意向を市政に反映するため、市民意識調査などを通じて市民ニーズの把握に努めます。また、市民との対話の場として市政懇談会、広聴はがき制度やインターネットなどの活用を努め、さらに市政モニター制度の検討を進めます。	① 市民意識調査を隔年で実施するとともに、必要に応じて、事業ごとに随時実施した。 ② 市長への手紙や電子メールによる広聴事業を実施した。 ③ 市民懇談会を実施した。 ④ 市政モニター制度については、検討を進めたが実現に至っていない。
② コミュニティづくりの推進(「コミュニティ」の施策による。)	

計画実現のために		実施状況
計画実現のために		
(2) 地方分権の推進		
① 主体的なまちづくりの推進	a 本市の特性をいかながら、地域自らの創意と工夫により主体的で自立したまちづくりを進めます。また、住民自治を基本としたまちづくり制度を検討します。	住民自治を基本としたまちづくり制度として自治基本条例の検討をはかった。
② 事務権限の移譲と財源の確保	a 市民生活の向上が期待できる事務と権限の移譲を求め、その事務と権限の移譲に見合った財源を、東京都市長会など関係団体と連携し、国や東京都に求めます。	移譲事務量や権限に見合った財源確保について、関係団体と連携し、国や東京都に要請している。
③ 政策形成能力の向上	a 行政・市民の意識変革が求められることから、自主的で自立した政策形成能力の向上をはかり、国・東京都との適切な役割分担による市政運営に努めます。	派遣研修事業や特別研修事業により、職員の政策形成能力の向上をはかった。

計画実現のために		実施状況
計画実現のために		
(3) 行財政運営の改革		
① 市民サービスの推進	A 窓口サービスの充実	
	a 窓口サービスのあり方を検討し、市民の立場に立ったサービスの向上に努めます。	①実務基礎研修事業や庁内研修事業により、窓口対応の向上をはかった。 ②「窓口サービスのあり方研究会」による検討をはかった。 ③電話予約による各種証明書の時間外交付を実施した。 ④転入・転出届けの多い3月及び4月に休日臨時窓口を開設した。 ⑤出先機関窓口の拡大(武蔵野会館、緑会館)に努めた。
	b 戸籍事務のコンピュータ化や住民票・証明書などの交付に情報機器を活用し、市民サービスの向上に努めます。	①戸籍システムを導入した。 ②システムの導入により、戸籍関係証明書の交付時間の短縮がはかられた。 ③出先機関での各種証明書の発行を進めた。
	B 総合情報システムの推進	
	a OA機器の積極的な導入を進めるとともに、住民情報、内部情報、地域情報の総合的な情報システム化をはかり、行政事務の効率化、市民サービスの向上に努めます。	各種システムの導入をはかり、効率的な行政運営と、市民サービスの向上に努めた。
	b プライバシーやデータ保護に配慮したコンピュータの高度利用を進めます。	①昭島市情報セキュリティポリシーの策定及び全部改定を行った。 ②外部記憶媒体への接続禁止措置を全端末へ適用した。 ③端末管理・監視システムを導入し、端末毎の詳細な設定が可能となった。これにより、利用機能制限・インターネット接続制限等更にセキュリティレベル高い運用が可能となった。
	C オンブズマン制度の導入	
	a 市民からのさまざまな意見に対応するため、オンブズマン制度の導入について検討を進めます。	総合オンブズパーソン制度を導入した。
② 健全な行財政運営の推進	A 計画行政の推進	
	a 多様化する行政課題に対応するため、課題ごとの計画づくりを進めます。あわせて、その計画の実行・評価・見直しに至るシステムの確立に努めます。	各種の分野別計画を策定し、その進行管理をはかっている。

<p>B 行政評価制度の導入</p> <p>a 政策の目標と成果を市民にわかりやすい指標で示す政策指標の設定、事業の有効性、効率性、必要性を検証する事務事業評価など、総合的な行政評価制度の導入を進め、成果主義にたった市政運営に努めます。</p>	<p>①基本計画をはじめ各種の分野別計画で指標値や目標値の設定を行っている。 ②事務事業評価を実施し、その成果を予算の枠配分方式につなげた。</p>
<p>C 組織・機構の整備</p> <p>a 新たな行政課題や市民の多様なニーズに即応した施策の総合的・機能的な展開と、施策を円滑に遂行できる簡素で効率的な組織機構の整備に努めます。</p> <p>b 多様化し高度化する行政課題に総合的に対応するため、庁内の連携を進めるとともに、重点的な施策については、推進プロジェクトの活用により総合的な対応を進めます。</p>	<p>行財政検討委員会の報告などを踏まえ、継続して組織の見直しをはかるとともに、適切な人事管理に努めた。</p> <p>①庁議や各種調整会議の実施により、庁内の連携をはかった。 ②必要に応じ、庁内の検討会議などを設置し、全庁的な検討や事業の推進に努めた。</p>
<p>D 民間活力の活用</p> <p>a 民間の活力や能力を活用し、より効率的な市政運営を行い、市民サービス水準の向上に努めます。</p> <p>b 行政の計画性・公益性と民間の柔軟性・効率性などを兼ね備えた機関の設置を検討します。</p>	<p>指定管理者制度による自転車駐車場の管理を実施した。</p> <p>機関の設置には至っていない。</p>
<p>E 財源の確保</p> <p>a 国や東京都からの補助金の安定的な確保とともに、市税の収納率の向上をはかるなど、行政サービスに対する受益者負担の適正化に努めます。また、地方分権にともなう必要な税財源の移譲を求めるとともに、新たな自主財源の確保をはじめ、財源拡充の方策を検討します。</p>	<p>①市税等徴収事務嘱託員や滞納整理指導員を設置した。 ②市税等収納対策本部を設置し、収納率の向上に努めた。 ③滞納管理システムや自動電話催告システムを導入した。 ④インターネット公売を導入した。 ⑤行財政検討委員会の報告などを踏まえ、行政サービスに対する受益者負担の適正化に努めた。 ⑥移譲事務量や権限に見合った財源確保について、関係団体と連携し、国や東京都に要請している。</p>
<p>F 財政の計画的運営</p> <p>a 市民の視点にたつて、事務事業の優先度や投資効果などを検討し、効果的な財源配分と予算の執行管理に努めます。そのため、財務会計システムの導入により、事業全般にわたり進行状況を的確に把握するなど、健全でかつ計画的で効率的な財政運営に努めます。</p>	<p>①当初予算編成に枠配分方式を導入し効果的な予算配分に努めた。 ②財務会計システムを導入した。 ③実施計画により、健全でかつ計画的で効率的な財政運営をはかった。</p>
<p>③ 広域行政の推進</p> <p>a 広域的な行政課題については、関係機関や自治体と連携して解決に努めます。また、広域的に取り組むことが効果的な事業については、近隣自治体との連携を推進します。</p>	<p>①一部事務組合による事務の共同処理を行っている。 ②市民図書館では、あきる野市及び福生市との相互利用を開始した。</p>

<p>計画実現のために 計画実現のために</p>	<p>実施状況</p>
<p>(4) 憲章・都市宣言趣旨の推進</p>	
<p>①「市民憲章」趣旨の推進</p> <p>a 市民一人ひとりの自主的な創意が、快適で、文化的な住み良いまちづくりの原点です。 市民一人ひとりが、協調の精神をもって「誇りあるふるさと」の創造に努め、これからの昭島を築き、発展させていかなければなりません。このため、「昭島市市民憲章」を日常生活のよりどころとし、その実践に努めます。</p>	<p>市民憲章趣旨の啓発に努めた。</p>
<p>②「高齢者憲章」趣旨の推進</p> <p>a 高齢者一人ひとりが明るくいいきと暮らせることは、すべての市民の願いです。このため、「高齢者憲章」の趣旨に基づき、高齢者が家庭や地域で敬愛され、その能力が十分に発揮できる環境づくりを進めます。</p>	<p>「高齢者憲章」の趣旨を踏まえ、各種高齢者施策の推進をはかった。</p>

<p>③「交通安全都市宣言」趣旨の推進</p>	<p>a 車社会の発展により、交通安全に対する社会的重要度はますます大きくなっています。このため、「交通安全都市宣言」の趣旨に基づき、市民生活の安全性・快適性を確保するとともに、ノーマライゼーション理念に配慮し、高齢社会に対応した交通安全環境づくりを進めます。</p>	<p>「交通安全都市宣言」の趣旨を踏まえ、各種交通安全対策事業の推進をはかった。</p>
<p>④「青少年とともにあゆむ都市宣言」趣旨の推進</p>	<p>a 明日の世代を担う青少年が、豊かな心と健康な体をもって成長することは、すべての市民の願いです。このため、「青少年とともにあゆむ都市宣言」の趣旨に基づき、青少年が自らの責任を自覚するとともに、夢と希望と勇気をもって成長できるよう、環境づくりを進めます。</p>	<p>「青少年とともにあゆむ都市宣言」の趣旨を踏まえ、各種青少年健全育成事業の推進をはかった。</p>
<p>⑤「非核平和都市宣言」趣旨の推進</p>	<p>a 恒久平和を実現することは、世界の人々の共通の願いです。このため、「非核平和都市宣言」の趣旨に基づき、平和の尊さをみつめ、永遠の平和を願い、平和思想の普及に努めます。</p>	<p>①「核と平和を考える市民のつどい」を実施した。 ②平和施設見学会を実施した。 ③日本非核宣言自治体協議会全国大会へ参加した。</p>